

プレス・板金・ フォーミング展

METAL
FORMING &
FABRICATING
FAIR
TOKYO

マザーマシン鍛圧機械と
塑性加工・レーザ加工の技術の進化

MF-Tokyo 2013

結果報告書

会 期：2013年7月24日(水) → 27日(土) 10:00~17:30
(最終日は16:00まで)
会 場：東京ビッグサイト 東1・2・3ホール
主 催：Jf一般社団法人 日本鍛圧機械工業会・日刊工業新聞社

関係各位

開 催 御 礼

謹 啓

ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。この度は「MF-Tokyo 2013 プレス・板金・フォーミング展」の開催にあたりまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様の絶大なるご支援、ご協力をいただきました本展は4日間の会期を無事終了することができました。これもひとえに、出展者各位、ご後援、特別協賛、ご協賛をいただいた関係官公庁ならびに産業諸団体のご尽力によるものと深く感謝いたしております。

さて、本展の開催模様につきましては日刊工業新聞紙面等で逐次報道いたしました。ここにその結果をまとめましたのでご報告いたします。今度とも関係各位の一層のご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

謹 白

2013年9月

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会
日刊工業新聞社

■開催名称 日本名称 MF-Tokyo 2013 プレス・板金・フォーミング展

副題 “マザーマシン鍛圧機械と塑性加工・レーザ加工の技術の進化”

英語名称 MF-Tokyo 2013 Metal Forming & Fabricating Fair Tokyo

■主催 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会／日刊工業新聞社

■後援 経済産業省／厚生労働省／環境省／横須賀市教育委員会

■特別協賛 日本塑性加工学会／日本鍛造協会／日本金属プレス工業協会／日本金型工業会

■協賛 日本自動車工業会／日本電機工業会／日本建設機械工業会／レーザ加工学会／日本溶接協会

■海外協賛 中国机床工具工業協会／中国鍛圧協会／中国国際工業博覧会／インド工作機械工業会／

アメリカ製造技術工業会／台湾区機器工業同業公会／韓国工作機械産業協会

(以上、順不同・法人格略)

■会期 2013年7月24日(水)～27日(土) 4日間

10:00～17:30 (最終日は16:00まで)

■会場 東京ビッグサイト 東1・2・3ホール

■入場料 1,000円 ※招待券をお持ちの方・事前登録者は無料

■併催セミナー 特別講演、学会テクニカルセミナー、出展者テクニカルセミナー、大学研究室発表会

■開催規模 201社・団体 (共同出展含め301社) 1,062小間 (約9,600㎡)

■入場者数

日付	天気	人数 (うち海外来場者数)	前回同环比
7月24日(水)	☂	5,719人 (215人)	-380人
7月25日(木)	☀	7,418人 (220人)	+41人
7月26日(金)	☀	9,573人 (229人)	+1,031人
7月27日(土)	☁	6,921人 (86人)	-581人
4日間合計		29,631人 (750人)	前回比111人増 (うち海外来場者 369人増)

※重複無し実人数

◎「MF-Tokyo 2013 プレス・板金・フォーミング展」 歓迎レセプション

日 時：2013年7月24日(水) 11:30~13:00

場 所：東京ビッグサイト 会議棟1F レセプションホールA



次 第：



主催者挨拶

一般社団法人
日本鍛圧機械工業会
代表理事会長

八木 隆



来賓祝辞

経済産業省
製造産業局
素形材産業室室長補佐

木村 隼斗 氏



特別協賛代表挨拶

一般社団法人
日本塑性加工学会
会長

吉田 総仁 氏



特別協賛代表挨拶

一般社団法人
日本鍛造協会
会長

後藤 充啓 氏



乾 杯

一般社団法人
日本鍛圧機械工業会
広報見本市委員会委員長

浜川 善和



中締め挨拶

日刊工業新聞社
取締役社長

井水 治博

特別講演 1 — シンポジウム形式 [会場] 会議棟1階 レセプションホールB

テーマ「サーボプレス進化について」

日時 7月24日(水) 14:00~15:30

定員 500名



コーディネータ
日本大学
生産工学部 機械工学科
教授
高橋 進氏

パネリスト
アイダエンジニアリング
営業技術部 リーダー
渡辺 雄二氏
コマツ産機 開発本部開発部
小型本体開発グループ
主任技師 佐藤 宏秀氏
放電精密加工研究所
開発事業部 メカトログループ
統括グループリーダー 高橋 竜哉氏
山田ドビー
設計部
マネージャー 山田 亨氏

テーマ「熱間鍛造プレス進化について」

日時 7月25日(木) 14:00~15:30

定員 500名



コーディネータ
名古屋大学
大学院工学研究科 教授
石川 孝司氏

パネリスト
住友重機械工業 産業機器事業部
設計部 プレス設計グループ
グループリーダー 山田 良巨氏
栗本鐵工所
機械事業部 鍛圧機技術部
部長 木下 裕次氏
模本機工
専務取締役
小林 久雄氏
阪村機械製作所
技術部
課長 遠藤 信幸氏

学会テクニカルセミナー

定員 各150名

学会テクニカルセミナー会場(東2ホール 事務室)

7/24 wed.	発表時間	講演者	講演題目
1	10:40 11:20	豊橋技術科学大学 工学部 機械工学系 教授 森 謙一郎氏	超高張力鋼部材の ホットスタンピング
2	11:30 12:10	首都大学東京 システムデザイン学部 システムデザイン研究科 教授 楊 明氏	サーボプレスの 高度利用技術
3	12:20 13:00	芝浦工業大学 デザイン工学部 教授 相澤 龍彦氏	マイクロフォーミング: 型材選択からドライプレス成形へ
4	13:10 13:50	(地独) 東京都立産業技術研究センター 開発本部開発第一部機械技術グループ 主任研究員 玉置 賢次氏	導電性セラミックスの ドライプレス成型への適用
5	14:30 15:10	中央大学 研究開発機構 教授 新井 武二氏	シートメタルのレーザ加工
6	15:40 16:20	京都大学 大学院エネルギー科学研究科 教授 宅田 裕彦氏	板材成形限界予測への 延性破壊条件式の適用

7/25 Thu.	発表時間	講演者	講演題目
7	10:40 11:20	名古屋大学 大学院工学研究科 教授 石川 孝司氏	部材軽量化のための 鍛造技術
8	11:30 12:10	東京農工大学 大学院工学研究科 教授 桑原 利彦氏	成形シミュレーションの 高精度化の秘訣
9	12:20 13:00	名古屋工業大学 大学院つくり領域 教授 北村 憲彦氏	厳しい塑性加工を助ける 環境に優しい型・潤滑技術
10	13:10 13:50	京都大学 大学院 エネルギー科学研究科 教授 馬淵 守氏	冷間成形性に優れたマグネシウム 合金圧延材の開発
11	14:30 15:10	千葉大学 名誉教授 渡部 武弘氏	レーザ光線による マイクロ加工からマクロ加工まで
12	15:40 16:20	東海大学 工学部 教授 吉田 一也氏	進化するねじ ー最新事情ー
13	16:30 17:10	広島大学 大学院 教授 吉田 総仁氏	ハイテンの最新の成形技術

7/26 Fri.	発表時間	講演者	講演題目
14	11:00 11:40	アイシン・エイ・ダブリュ 平成24年度 日本塑性加工学会大会大賞受賞 堀 智之氏	インライン生産を実現する 複動1ストロークプレスの実用化
15	11:50 12:30	三菱日立製鉄機械 平成24年度 日本塑性加工学会技術開発賞受賞 部長 加賀 慎一氏	非鉄圧延連続化のための凹凸 ツールを用いた両面FSW法の開発
16	12:40 13:20	国際計測器 平成24年度 日本塑性加工学会技術開発賞受賞 企画開発部 部長 真崎 明夫氏	サーボモータ/ハイドロテック方式に よる二軸引張試験機の開発
17	13:30 14:10	三星製作所 平成25年度 日本塑性加工学会技術開発賞受賞 技監 神藤 宏明氏	高負荷絞り加工における 最適熱処理法の開発
18	14:20 15:00	合志技研工業 平成25年度 日本塑性加工学会技術開発賞受賞 技術開発部 技術主任 松尾 司氏	セミリッドプレス鍛造加工 技術の開発と実用化
19	15:10 15:50	東北大学 金属材料研究所 附属研究施設関西センター 平成25年度 日本塑性加工学会大会大賞受賞 教授 早乙女 康典氏	超塑性ナノマイクロ 成形加工技術の研究開発
20	16:00 16:40	広島大学 大学院工学研究科 教授 篠崎 賢二氏	ホットワイヤ・レーザ溶接法による 高効率・高品質溶接継手の作製

7/27 Sat.	発表時間	講演者	講演題目
21	11:00 11:40	首都大学東京 都市教養学部 工学研究科 教授 真鍋 健一氏	軽量化成形技術「チューブ フォーミング」の最新動向
22	11:50 12:30	電気通信大学 大学院情報理工学研究科 准教授 久保木 孝氏	パイプおよび板材の新しい 曲げ成形に関する技術開発
23	12:40 13:20	東京大学 生産技術研究所 教授 柳本 潤氏	塑性加工による特性付与の ための組織制御技術
24	13:30 14:10	大阪大学 大学院工学研究科 教授 宇都宮 裕氏	熱間加工時の表面酸化皮膜 (スケール)の挙動
25	14:20 15:00	大阪大学 接合科学研究所 教授 片山 聖二氏	レーザ溶接現象および 各種溶接欠陥の発生と防止策

出展者テクニカルセミナー

出展者テクニカルセミナーA会場(東1 事務室)

7/24 wed.	発表時間	会社名	発表者	発表テーマ
1	11:00 11:40	阪村機械 製作所	設計グループ 課長 黒川 則夫氏	出展機及び最近の 弊社フォーマーの特徴
2	11:50 12:30	コマツ産機	板金事業部開発部 主幹技師 林 清一氏	2次元ファイバーレーザ 加工機の紹介
3	12:40 13:20	向洋技研	営業部 課長 橋田 周平氏	高速溶接技術の解説
4	13:30 14:10	相澤鐵工所	代表取締役 相澤 邦充氏	ファインシャーリングの テーパードリブ材への 応用について
5	14:20 15:00	理研 オブテック	取締役部長 加藤 一義氏	新構造規格施行後の プレス周りの安全に ついて
6	15:10 15:50	ニッセー	テクニカルアドバイザー 竹増 光家氏	二重ねじ機構に基づく ボルト締結体の 転道加工と性能評価

7/25 Thu.	発表時間	会社名	発表者	発表テーマ
7	11:00 11:40	アイダ エンジニア リング	営業・サービス本部 営業技術部 営業技術1課 業務課長 井村 隆昭氏	最近のプレス加工と ULとDSFの活用
8	11:50 12:30	トルンプ	レーザ溶接 推進プロジェクト リーダー 岡 寛幸氏	進化する ファイバーレーザ 加工について
9	12:40 13:20	コニック	技術部 部長 山本 伸一氏	プレス板金用金型の 基本仕様と性能に ついて
10	13:30 14:10	村田機械	工作機械事業部 板金システム部 SEグループ 課長 西部 秀久氏	需要変動に強い 生産融合システム
11	14:20 15:00	オリイメック	技術部開発課 主任 鈴木 光氏	一歩進んだ効率化を 日本の生産現場に
12	15:10 15:50	三菱電機	名古屋製作所 レーザ製造部 GOSグループ グループマネージャー 村井 融氏	三菱最新レーザ技術の ご紹介

7/26 Fri.	発表時間	会社名	発表者	発表テーマ
13	11:00 11:40	旭サナック	金型事業部 課長 森田 真氏	圧造現場の実際に 関する考察
14	11:50 12:30	エイチアンド エフ	開発制御部 部長 中村 一行氏	自動車部品用 大型プレス及び 自動化装置の最新動向
15	12:40 13:20	エー・ピー アンドティ	代表取締役社長 藍田 和雄氏	ホットスタンプの現状
16	13:30 14:10	放電精密 加工研究所	開発事業部 次長 村田 力氏	ボールネジ 直動式サーボプレスの 特徴と加工事例
17	14:20 15:00	アミノ	成形課 溝口 雅士氏	板材のダイスNCフォーミング 適応拡大事例について (厚板材への応用・展開)
18	15:10 15:50	住友重機械 工業	産業機器事業部 営業部 プレスグループ 国内営業チーム 主査 高木 克啓氏	FPRシリーズの機能と 評価について
19	16:00 16:40	ロス・ アジア	マーケティング部 ディレクター 白井 透氏	ダブルバルブの安全性検証 ーダブルバルブは本当に 安全なのか？

7/27 Sat.	発表時間	会社名	発表者	発表テーマ
20	11:00 11:40	山本水圧 工業所	技術部 課長 坂口 尚良氏	管のドロウベンド、プリフォーム、 ハイドロフォームによる矩形 断面曲がり部のシミュレーション
21	11:50 12:30	山田ドビー	設計マネージャー 平光 和男氏 開発チームリーダー 服部 竜一氏	超高速精密プレスによる 生産性向上への挑戦
22	12:40 13:20	川崎油工	技術部 機械設計グループ グループ長 松田 靖志氏	自動車の軽量化に 貢献する成形システム
23	13:30 14:10	小森安全機 研究所	取締役会長 小森 雅裕氏	欧州における 安全柵の実情

テーマ「ファイバーレーザ加工機の進化について」

日時 7月26日(金) 14:00~15:30

定員 500名



コーディネーター
最新レーザ技術
研究センター
代表取締役

沓名 宗春 氏

パネリスト
コマツ産機 板金事業部 開発部
主幹技師 林 清一 氏
村田機械 工作機械事業部
板金システム部 部長 小林 弘 氏
トルンプ 営業技術部 部長 宮島 弘之 氏
サルバニーニジャパン 技術サービス部
カスタマーケア マネージャー 早瀬 航一 氏
三菱電機 レーザ製造部
ファイバーレーザ 開発プロジェクトグループ
プロジェクトグループ マネージャー 西田 聡 氏

特別講演 2

テーマ「CFRP加工法の進化」

日時 7月27日(土) 11:00~12:00

定員 500名



会場 会議棟1階
レセプションホールA

講師
三菱レイオン
炭素繊維・複合材料技術統括室
担当部長

小川 繁樹 氏

定員 各150名

出展者テクニカルセミナーB会場(東1 セミナールーム)

席	発表時間	会社名	発表者	発表テーマ
1	11:00 11:40	トルンプ	レーザ溶接 推進プロジェクト リーダー 岡 寛幸氏	進化する ファイバーレーザ 加工について
2	11:50 12:30	エルピーアイ	LB/Orbit Technology Corporation Toshi Sakai氏	間違いだらけの 伸び計算
4	13:30 14:10	小森安全機 研究所	取締役会長 小森 雅裕氏	欧州における 安全柵の実情
5	14:20 15:00	旭サナック	金型事業部 課長 森田 真氏	圧造現場の実際に 関する考察
6	15:10 15:50	住友重機械 工業	産業機器事業部 設計部 プレスグループ 梶谷 純平氏	鍛造プレスの 最近の動向

席	発表時間	会社名	発表者	発表テーマ
7	11:00 11:40	阪村機械 製作所	設計グループ 課長 黒川 則夫氏	出展機及び最近の 弊社フォーマーの特徴
8	11:50 12:30	ニッセー	テクニカルアドバイザー 竹増 光家氏	高性能焼結造歯車の 精度と強度
9	12:40 13:20	コマツ産機	開発本部 開発部システム グループ長 道場 栄自氏	新型 小型AC サーボプレスの紹介
10	13:30 14:10	サンテスト	技術部 主管 中川 晋一郎氏	MELSEC-Qビルトイン 油圧サーボ コントローラユニット
11	14:20 15:00	SHIEH YIH MACHINERY	成形技術部 菅沼 俊治氏	SEVI発ダイレクト サーボプレス SD 1,SD 2 シリーズ
12	15:10 15:50	MTS センサー テクノロジー	技術部アプリケーションエンジニア Eka Raditya Rooshartanto氏	生産性向上のための 位置決めセンサーの 使い方

席	発表時間	会社名	発表者	発表テーマ
13	11:00 11:40	コマツ産機	板金事業部開発部 商品企画開発グループ 主任技師 津野 仁志氏	新型 ハイドロAC サーボプレスプレキの 紹介
14	11:50 12:30	小森安全機 研究所	取締役会長 小森 雅裕氏	欧州における 安全柵の実情
15	12:40 13:20	グループ・ ジャパン	技術営業部 榎本 祐司氏	プレスの信頼性および 生産性向上に貢献する 防振システムのご提案
16	13:30 14:10	ニッセー	ヘガネスジャパン テクニカルサポート部 部長 武田 義信氏	粉末冶金法による 高負荷対応ギヤの紹介
17	14:20 15:00	田野井 製作所	技術部 沢辺 輝雄氏	薄肉バーリング用 タフレットの使い方 について
18	15:10 15:50	イリス	Felss 営業部 Michael Bayer氏	最新のスエーピング・ アキシャル成形工法
19	16:00 16:40	山田ドビー	設計マネージャー 平光 和男氏 開発チームリーダー 服部 竜一氏	超高速精密プレスによる 生産性向上への挑戦

席	発表時間	会社名	発表者	発表テーマ
20	11:00 11:40	SCSK	解析ソリューション部 原田 英輝氏	鍛造CAEソフトウェア [FORGE]のご紹介
21	11:50 12:30	ニッセー	テクニカルアドバイザー 竹増 光家氏	転造による高能率・ 高精度加工の可能性
22	12:40 13:20	コマツ産機	執行役員 板金事業部 副事業部長 茶畑 泰範氏	3次元レーザ加工機の 紹介
23	13:30 14:10	ノードソン	EFDビジネスグループ 栗原 伸浩氏	金属プレス加工の 微細化・高速化、 低コスト化のために

大学研究室発表会

定員 各100名

大学研究室発表会場(東3 ホール内)

席	発表時間	発表研究室/発表者	発表テーマ
1	11:00 11:15	一般社団法人日本塑性加工学会 京都大学 教授 宅田 裕彦氏	日本塑性加工学会の紹介
2	11:20 11:35	東海大学 工学部 吉田研究室 教授 吉田 一也氏	東海大学吉田研究室の紹介
3	11:40 11:55	千葉大学 工学部 材料加工工学研究室 准教授 小山 秀夫氏	フレキシブルな塑性加工
4	13:00 13:15	静岡大学 工学部 塑性加工研究室 准教授 早川 邦夫氏	次世代のもののづくりを 目指して
5	13:20 13:35	芝浦工業大学 工学部 生産加工プロセス研究室 教授 青木 孝史朗氏	結晶粒微細化を利用した低環境 負荷・高強度金属材料の開発
6	13:40 13:55	弓削商船高等専門学校 商船学科 中研究室 教授 中 哲夫氏	難加工材のプレス成形 へのチャレンジを紹介

席	発表時間	発表研究室/発表者	発表テーマ
7	11:00 11:15	首都大学東京 機械工学専攻 塑性工学研究室 助教授 古島 剛氏	首都大東京 塑性工学研究室の紹介
8	11:20 11:35	横浜国立大学 理工学部 塑性加工工学研究室 教授 川井 謙一氏	回転成形
9	11:40 11:55	埼玉大学 教育学部 塑性加工研究室 准教授 内海 能彦氏	形材の曲げ加工に関する研究と 教材用の塑性加工機の紹介
10	13:00 13:15	日本工業大学 機械工学科 精密加工研究室 教授 神 雅彦氏	塑性加工に対する 超音波振動技術の応用
11	13:20 13:35	首都大学東京 システムデザイン研究科 機能デバイス研究室 助教授 清水 徹英氏	マイクロ機能デバイスの創成
12	13:40 13:55	千葉大学 工学部 材料加工工学研究室 准教授 小山 秀夫氏	フレキシブルな塑性加工

席	発表時間	発表研究室/発表者	発表テーマ
13	11:00 11:15	日本大学 理工学部 機械工学科 塑性加工研究室 教授 星野 倫彦氏	日本大学 塑性加工研究室の紹介
14	11:20 11:35	豊橋技術科学大学 機械工学系 極限成形システム研究室 助教授 前野 智美氏	豊橋技術科学大学極限成形 システム研究室の紹介
15	11:40 11:55	宇都宮大学 工学部 材料加工研究室 助教授 白鷺 篤氏	部品の軽量化に向けた 基礎研究
16	13:00 13:15	東京農工大学 工学部 桑原研究室 齊藤 正純氏	成形シミュレーションの高精度化に 資する多軸材料試験方法の開発
17	13:20 13:35	国士舘大学 理工学部 機械工学科 大橋研究室 教授 大橋 隆弘氏	プレス金型多点 支持装置の紹介
18	13:40 13:55	東京工業大学 機械制御システム専攻 吉野・山本研究室 教授 吉野 雅彦氏	超微細塑性加工を 用いた機能表面の開発
19	14:00 14:15	玉川大学 工学部 材料加工工学研究室 教授 川森 重弘氏	MA/SPS法を用いた 新材料創製
20	14:20 14:35	成蹊大学 理工学部 システムデザイン学科 材料力学研究室 下村 勇理氏	純銅の曲げ変形にともなう集合組織 の変化ならびに材料力学研究室の取り組み
21	14:40 14:55	東海大学 工学部 吉田研究室 教授 吉田 一也氏	東海大学吉田研究室の紹介
22	15:00 15:15	首都大学東京 機械工学専攻 塑性工学研究室 助教授 古島 剛氏	首都大東京 塑性工学研究室の紹介

席	発表時間	発表研究室/発表者	発表テーマ
23	11:00 11:15	横浜国立大学 理工学部 塑性加工工学研究室 教授 川井 謙一氏	回転成形
24	11:20 11:35	芝浦工業大学 工学部 生産加工プロセス研究室 教授 青木 孝史朗氏	結晶粒微細化を利用した低環境 負荷・高強度金属材料の開発
25	11:40 11:55	日本大学 生産工学部 高橋研究室 教授 高橋 進氏	プレス成形における 計測技術開発
26	13:00 13:15	首都大学東京 システムデザイン研究科 機能デバイス研究室 助教授 清水 徹英氏	マイクロ機能デバイスの創成
27	13:20 13:35	日本大学 理工学部 機械工学科 塑性加工研究室 教授 星野 倫彦氏	日本大学 塑性加工研究室の紹介
28	13:40 13:55	宇都宮大学 工学部 材料加工研究室 助教授 白鷺 篤氏	部品の軽量化に向けた 基礎研究
29	14:00 14:15	東京農工大学 工学部 桑原研究室 教授 桑原 利彦氏	成形シミュレーションの高精度化に 資する多軸材料試験方法の開発
30	14:20 14:35	東京工業大学 機械制御システム専攻 吉野・山本研究室 助教授 寺野 元規氏	塑性異方性を考慮したバルク成形 シミュレーションの高精度化

東3ホール East Hall 3

東2ホール



出展者リスト (※は共同出展者)

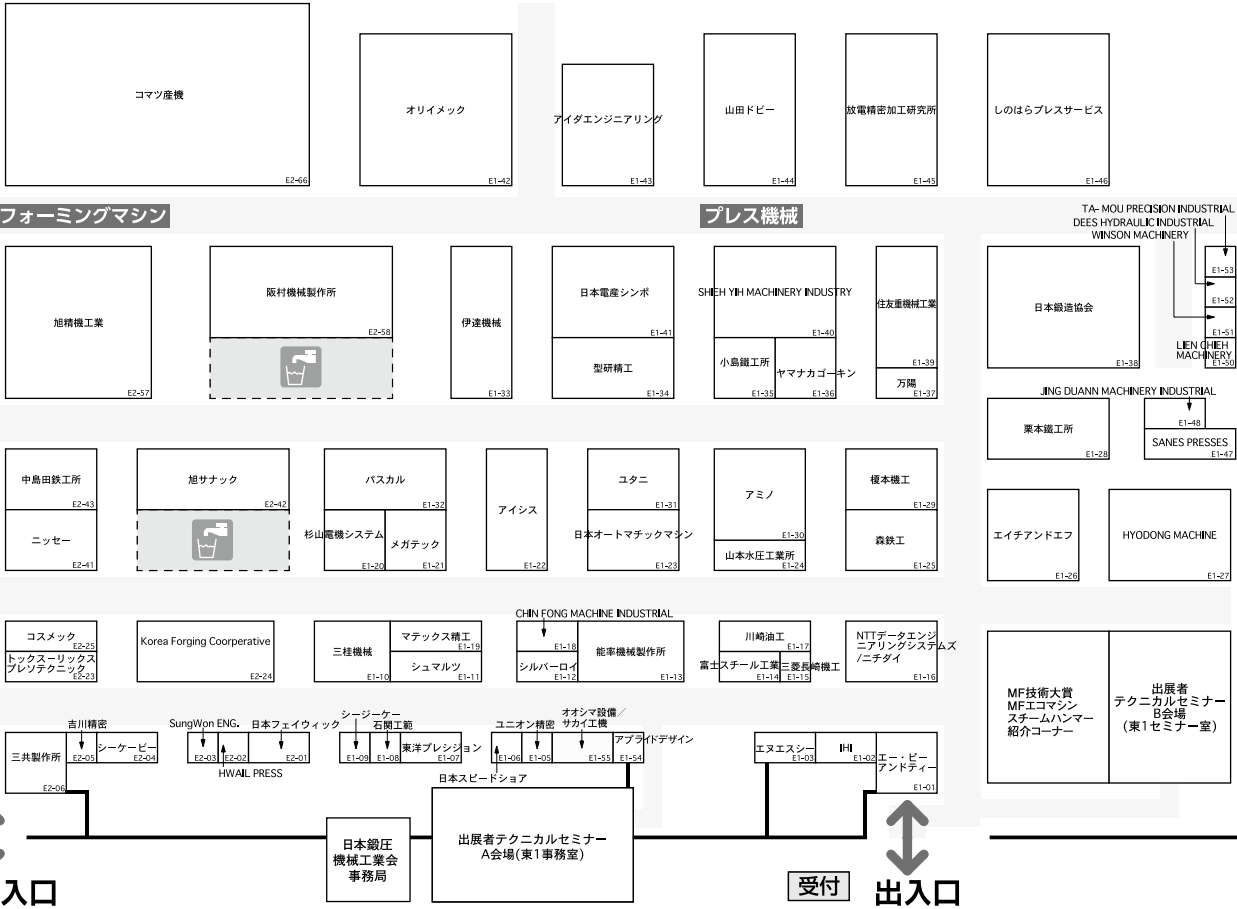
- | | | |
|----------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|
| E1-02 IHI | E3-78 オプトン | E3-10 コロナ社 |
| E3-80 相澤鐵工所 | E1-42 オリイメック | E1-47 SANES PRESSES |
| E1-22 アイシス | E3-40 片桐製作所 | E3-42 阪村エンジニアリング |
| E2-26 アイセル | ※浅井産業 | ※名工技研 |
| E1-43 アイダエンジニアリング | E1-34 型研精工 | E2-58 阪村機械製作所 |
| E2-48 アクア化学 | E3-88 兼松 KKG | E3-05 佐藤工業 |
| E2-42 旭サナック | E1-17 川崎油工 | ※双日マシナリー |
| E2-57 旭精機工業 | E3-08 関西鐵工所 | E3-90 佐藤商事 |
| E3-92 アジア技研 | E2-08 ギア | ※Fontijne Grotnes |
| E1-54 アブライドデザイン | E3-65 協同エンジニアリング | E2-64 サルバニーニジャパン |
| E1-30 アミノ | E3-72 協和マシン | E2-03 SungWon ENG. |
| E3-41 イグス | E3-62 旭光製作所 | E2-18 サンエイ |
| E2-71 石井工作研究所 | E1-28 栗本鐵工所 | E2-06 三共製作所 |
| E1-08 石関工範 | ※ケイエステック | E1-10 三桂機械 |
| E3-89 YIH SHEN MACHINERY | E2-47 京葉ベンド | ※藤製作所 |
| E2-56 板屋製作所 | ※パイプ加工機械工業会 | ※マツモトマシナリー |
| E3-03 イリス | E2-09 ケット科学研究所 | E2-33 三光産業 |
| ※FELSS | E3-38 ギルプ・ジャパン | ※アシスト |
| E2-68 IL KWANG | E3-61 小池酸素工業 | E2-49 サンテス |
| ※アクセプト | E2-53 コイルマスター | E2-15 三徳商事 |
| E1-51 WINSON MACHINERY | E3-61 向洋技研 | E2-04 シーケーピー |
| E1-26 エイチアンドエフ | E2-44 ゴーショー | ※Schuler Pressen |
| E3-76 エイム | ※SACMA Group | E1-09 シージーケー |
| E1-01 エー・ピーアンドディー | E2-54 コーレンス | E1-40 SHIEH YIH MACHINERY INDUSTRY |
| E3-35 エーコールド・ジャパン | ※DREISTERN | E2-19 JX 日鉄石エナジー |
| E2-14 エスエヌディ | E2-55 コーレンス | E3-47 シグマテックジャパン |
| E3-07 SCSK | ※Heinrich Müller Maschinenfabrik | E1-46 しのはらプレスサービス |
| E3-02 SGO | ※Otto Bihler Maschinenfabrik | E3-75 澁谷工業 |
| E2-50 エステーリンク | ※Schuler Pressen | E1-11 ショマルツ |
| E2-38 エステファーマス | ※Wafios | E3-12 商工経済新聞社 |
| E1-03 エヌエス | E1-35 小島鐵工所 | E2-13 昭和精工 |
| ※楠精工 | E2-25 コスメック | E1-12 シルバーロイ |
| E1-16 NTT データエンジニアリングシステムズ | E2-35 コトブキ | E2-40 新興機械工業 |
| E1-29 榎本機工 | E3-80 コニック | E1-48 JING DUANN MACHINERY INDUSTRIAL |
| ※クリアテック | ※キャドマック | E1-20 杉山電機システム |
| E2-67 MG | E2-66 コマツ産機 | E3-46 住谷製作所 |
| E3-01 MTS センサーテクノロジー | E3-49 コムネット | E1-39 住友重機械工業 |
| E3-59 エルビーアイ | E3-68 小森安全機研究所 | E3-37 ゼロフォー |
| ※三菱商事テクノス | E2-24 Korea Forging Cooperative | E1-53 TA-MOU PRECISION INDUSTRIAL |
| E2-27 オ・エス・ワイ | ※AGANG TECH | E2-07 大東スピニング |
| ※JERN YAO | ※Kowon Metal | E2-69 ダイナテック |
| ※3View.Com | ※CHEMITECH | E3-77 ダイマック |
| E2-61 オーセンテック | ※HOSUNG Machinery Ind. | E3-50 タイメック |
| E1-55 オオシマ設備 | ※DAEWON FORGING | E3-81 太陽日酸 |
| ※サカイ工機 | ※DONG SAN IND. | E3-73 タガミ・イーエクス |
| E2-22 大峰工業 | ※HANHO INDUSTRIAL | E3-87 宝精密 |
| E2-21 奥野機械製作所 | ※FORMETAL | E1-33 伊達機械 |

East Hall 2

東1ホール East Hall 1



休憩所(ウォーターサーバーあり)



出入口

受付 出入口

E2-39 田野井製作所
E2-32 DAVI-PROMAU
E3-06 チョダ工業
※ナソソフト
E1-18 CHIN FONG MACHINE INDUSTRIAL
E1-52 DEES HYDRAULIC INDUSTRIAL
E3-83 テクノコート
E3-48 東栄工業
E3-64 東洋精工
E1-07 東洋プレジジョン
E2-23 トックススーリックス プレステクニック
E2-65 トレンプ
※エフエーサービス
E2-43 中島田鉄工所
※三明製作所
E2-30 中田製作所
E3-70 西島
E1-16 ニチダイ
E3-33 日刊工業新聞社
E2-41 ニッセー
※岩谷産業
※NTTデータエンジニアリングシステムズ
※ヘガネスジャパン
E2-16 日本タッパ
E3-71 日本ウエルディング
E1-23 日本オートマチックマシン
E2-37 日本計測システム
E1-06 日本スピードショア
※ヤマシタワークス
E1-41 日本電産シンボ
E2-01 日本フェイウィック
※GOZPER
E3-43 日本フォーミング
E2-31 日本フローコントロール
E1-13 能率機械製作所
E2-10 ノードン
E2-34 バーテック
E2-60 ハイウイン
E1-32 バスカル
E3-45 ハテパージャパン
E3-11 ばね新聞社
E2-29 ビービー・ジャパン
E1-27 HYODONG MACHINE
E2-17 枚岡合金工具
E2-52 ファブエース
E2-46 フジイ
E3-82 富士機工

E1-14 富士スチール工業
E3-63 フナボリ
E2-51 FLADDER DANMARK
E2-02 HWAIL PRESS
E2-20 豊栄工業
E2-45 豊光エンジニアリング
E1-45 放電精密加工研究所
E2-12 ホームレーディングカンパニー
E3-69 北越工業
E3-91 マーボス
E2-36 マコー
E3-74 マツモト産業
※マツモト機械
E1-19 マテックス精工
E2-59 丸昭機械
E1-37 万陽
E3-86 三菱電機
E1-15 三菱長崎機工
E3-04 三菱UFJリース
E3-85 村田機械
E2-11 ムラタ溶研
E1-21 メガテック
E1-25 森鉄工
E3-36 柳瀬
E3-84 ヤマザキマザック
E2-63 ヤマダコーポレーション
E1-44 山田ドビー
E1-36 ヤマナカコーキン
E1-24 山本水圧工業所
E3-44 ユーザック
E3-34 ユーロテック
E2-28 ユタカアドバンス
E1-31 ユタニ
E1-05 ユニオン精密
E2-05 吉川精密
E3-79 吉野機械製作所
※イーゼーデータジャパン
E1-50 LIEN CHIEH MACHINERY
E3-67 理研オプテック
E3-66 理研計器奈良製作所
E3-39 ロス・アジア

特別協賛団体 出展者一覧
■日本塑性加工学会
E3-09 日本塑性加工学会
E3-12 宇都宮大学 工学部 材料加工研究室

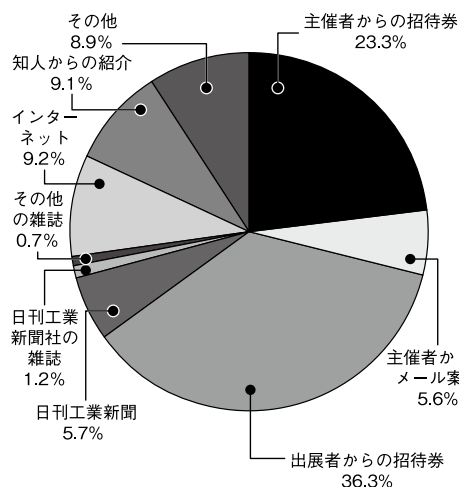
E3-21 国士館大学 理工学部 機械工学系
大橋研究室
E3-15 埼玉大学 教育学部 塑性加工研究室
E3-29 静岡大学 工学部 塑性加工研究室
E3-18 芝浦工業大学 工学部 機械機能工学科
生産加工プロセス研究室
E3-25 首都大学東京 システムデザイン研究科
機能デバイスグループ 楊研究室
E3-26 首都大学東京 理工学研究科
機械工学専攻 塑性工学研究室
E3-22 成蹊大学 理工学部
システムデザイン学科 材料力学研究室
E3-23 玉川大学 工学部 材料加工工学研究室
E3-16 千葉大学 工学部 材料加工工学研究室
E3-28 東海大学 工学部 吉田研究室
E3-20 東京工業大学 機械制御システム専攻
吉野・山本研究室
E3-24 東京農工大学 工学部 桑原研究室
E3-30 豊橋技術科学大学 機械工学系
極限成形システム研究室
E3-14 日本工業大学 機械工学科
精密加工研究室
E3-17 日本大学 生産工学部 機械工学科
高橋進研究室
E3-19 日本大学 理工学部 機械工学科
塑性加工研究室
E3-31 弓削商船高等専門学校 商船学科
中研究室
E3-27 横浜国立大学 理工学部
塑性加工工学研究室

特別協賛団体 出展者一覧
■日本鍛造協会
E1-38 日本鍛造協会
アイシク・メタルテック
アサヒフォージ
アルミニウム鍛造技術会
インダクトグループ
ウチノ
大谷機械製作所
大智鍛造所
大宮日進
角田鉄工所
金型溶接テクニカルセンター
近畿鍛造品事業協同組合
ゴージュ

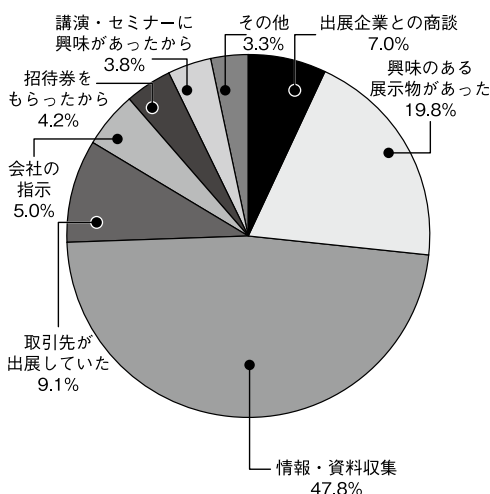
コタニ
サクラクレパス
サムテック
サンアロイ工業
新東工業
シンニッタン
セイタン
タイチク
タンレイ工業
知多工業
中部鍛造所
ティエフォー
デッサ
東亜鍛工所
東京鍛造工業協同組合
中日本鍛造協同組合
浪速鉄工
日本黒鉛工業
福光精機
北陸工業
マテック
丸富五十嵐製作所
万能工業
三井造船
峰山鉄工所
ミヤケ
ミヤジマ
メタルアート
八木工業
山崎機械製作所
理研鍛造
ワイエイシイデンコー

海外協賛団体 出展者一覧
E3-56 インド工作機械工業会
E3-58 韓国工作機械産業協会
E3-57 台湾区機器工業同業公会
E3-52 中国国際工業博覧会
E3-53 中国鍛圧協会

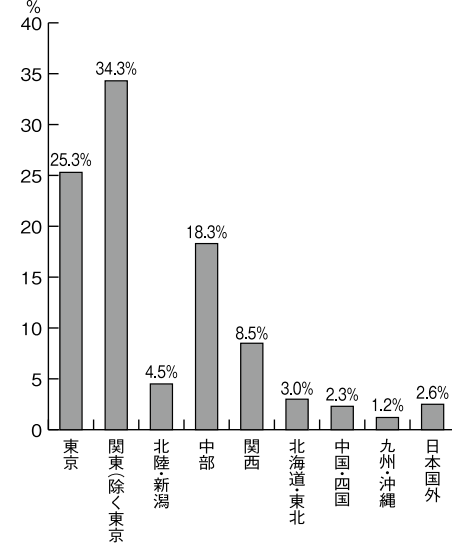
□本展を何で知りましたか？



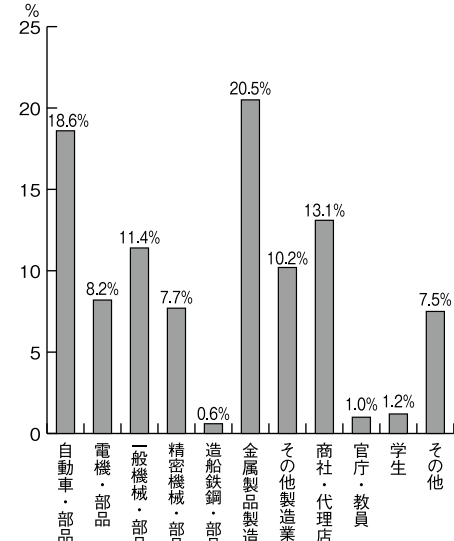
□本展に来られた理由はどれですか？



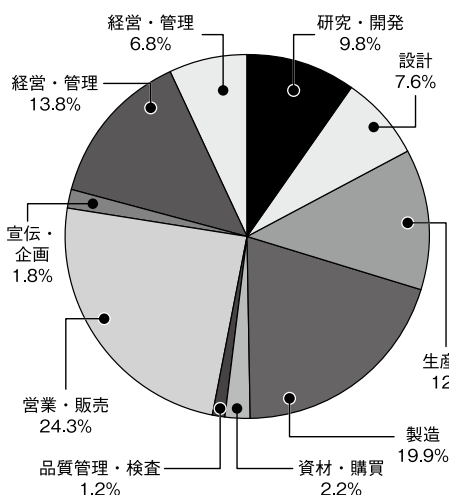
□どちらから来られましたか？



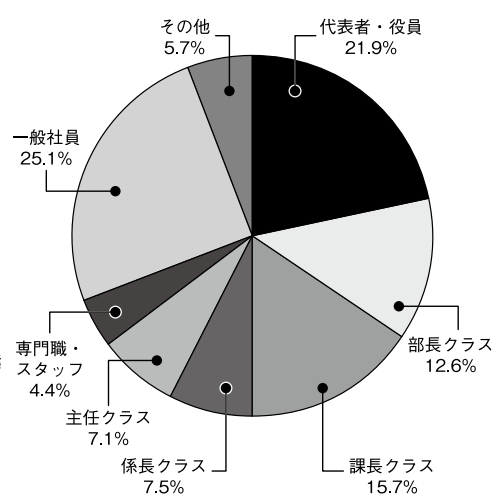
□業種は？



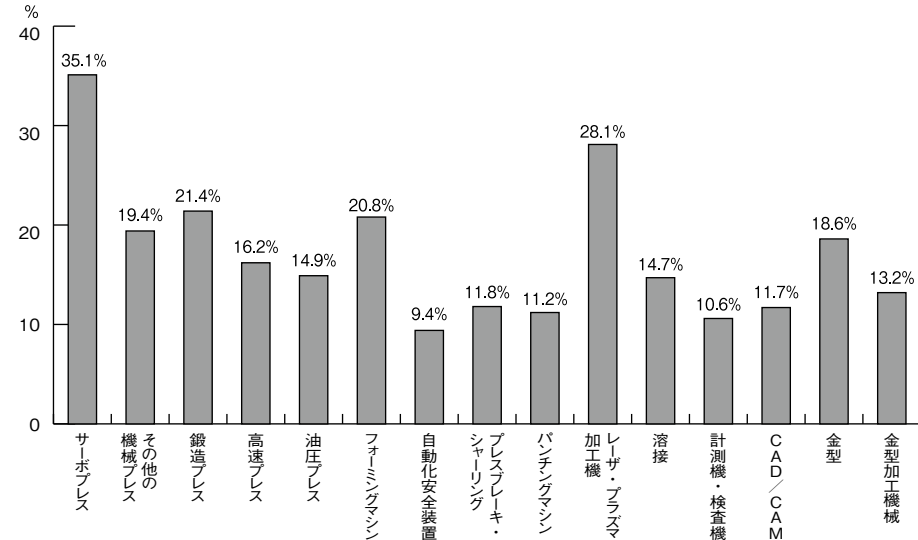
□職種は？



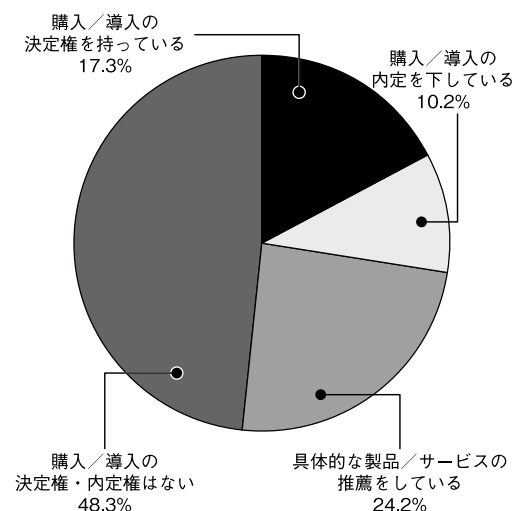
□お役職は？



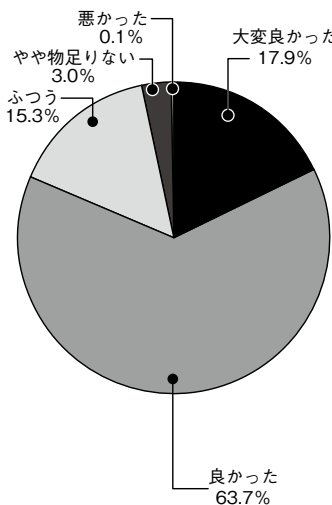
□関心をもった機種は何ですか？(複数回答可)



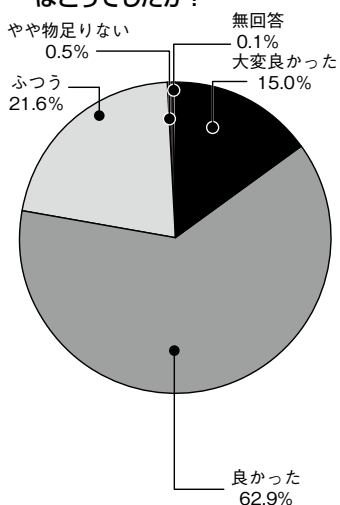
□製品及びサービスについての購入・導入における関与度をお教えてください。



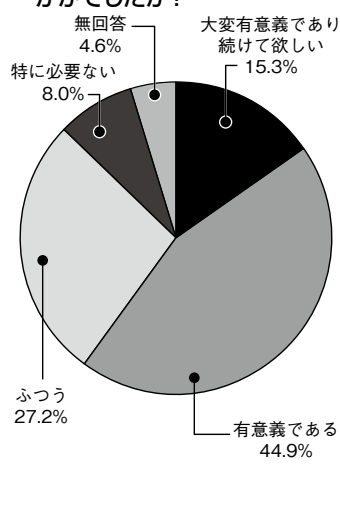
□本展示会の会場構成の感想をお聞かせください。



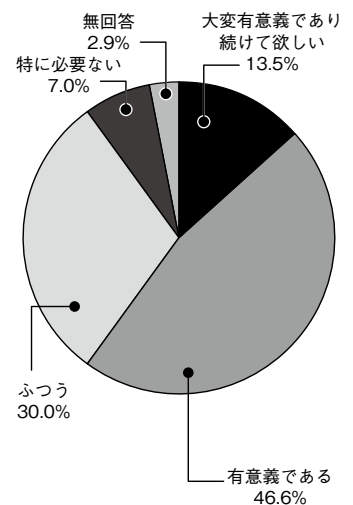
□会場内のサービス施設(受付、案内看板、休憩所、ウォーターサーバー他)や会場の雰囲気はどうでしたか？



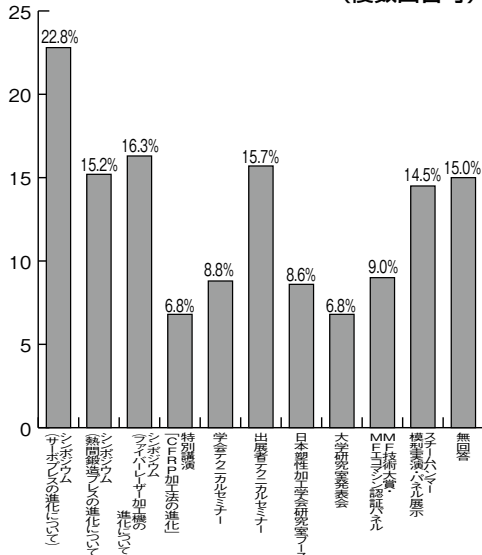
□日本塑性加工学会・レーザー加工学会と連携して先生方のセミナーを開催しましたがいかがでしたか？



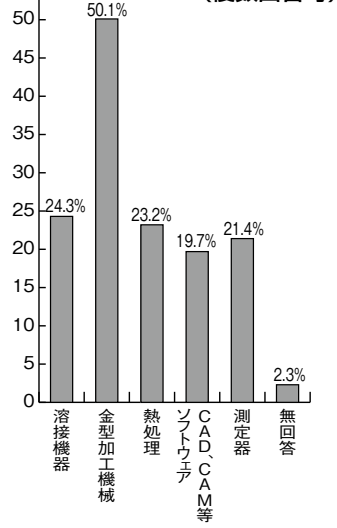
□日本塑性加工学会にご協力頂き、大学研究ブースを設けましたがいかがでしたか？



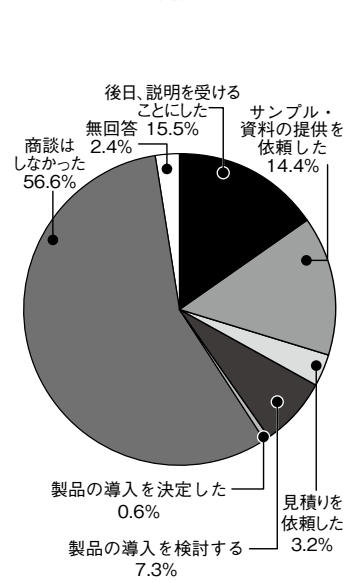
□併催事業・主催者企画でよかったものは何ですか。(複数回答可)



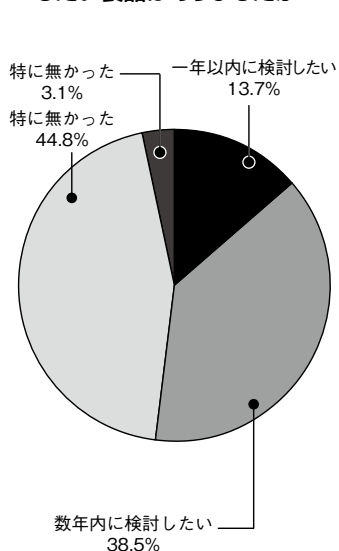
□一緒に出展して欲しい機械類はありますか。(複数回答可)



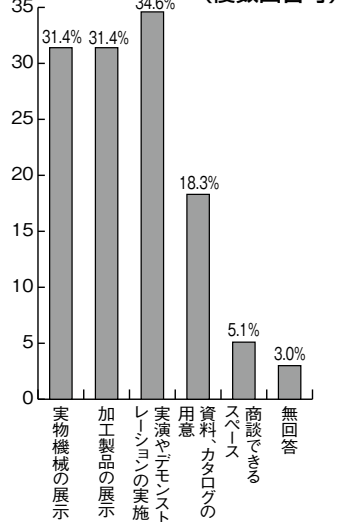
□今回、会場で商談されましたか？



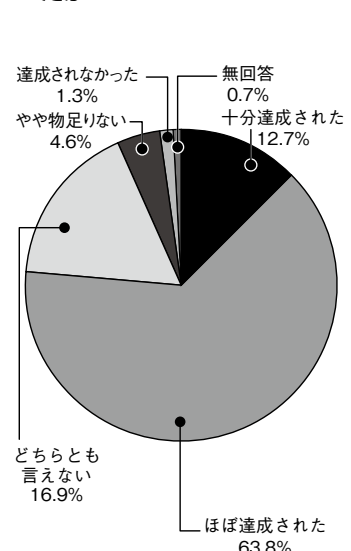
□出展製品の中で、貴社で購入したい製品はありましたか？



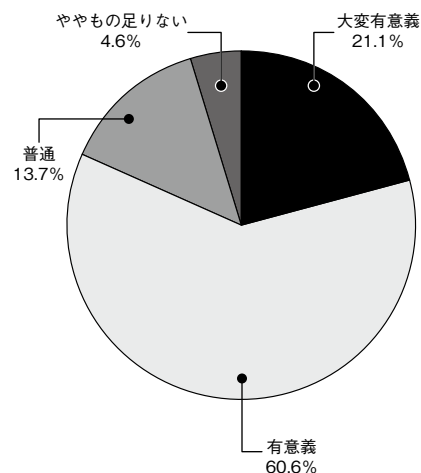
□出展者に対して、どのようなことをのぞみますか？(複数回答可)



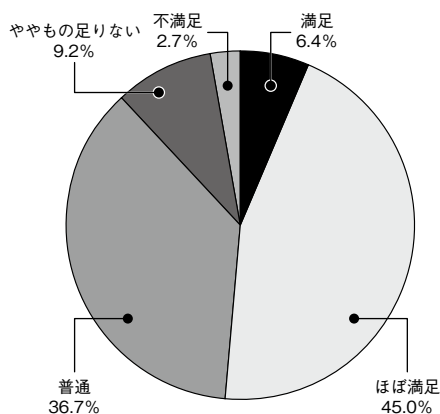
□ご来場の目的は達せられましたか？



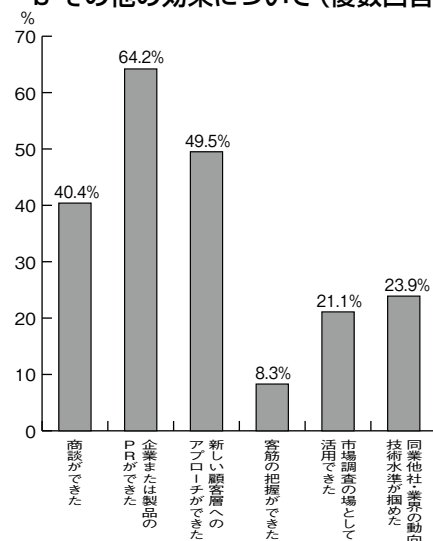
□ 本展に出展した全般的感想について



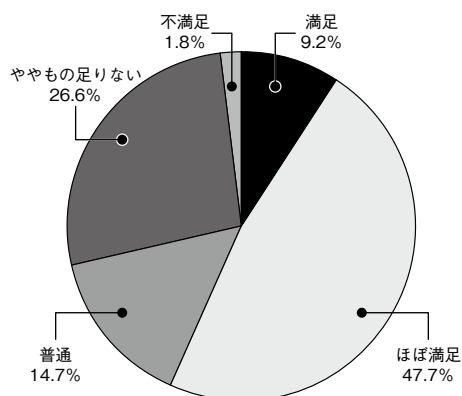
□ 出展効果について
a 成約・引き合いについて



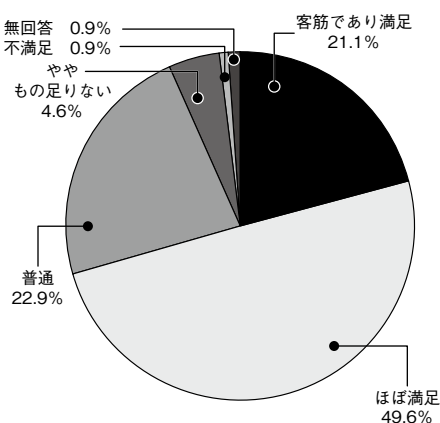
b その他の効果について（複数回答可）



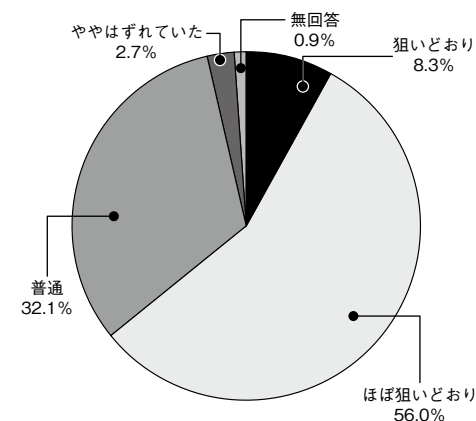
□ 来場者数について



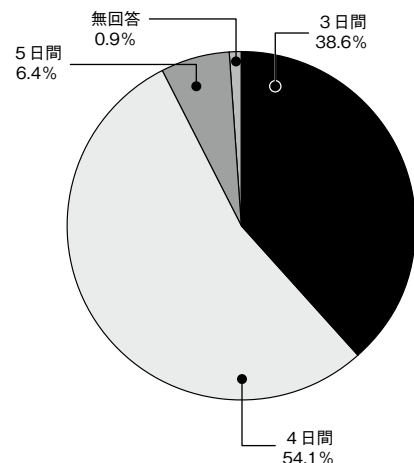
□ 来場者層について



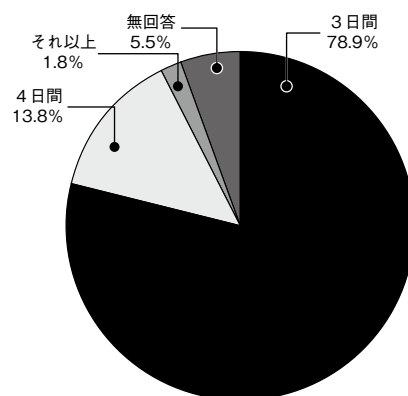
□ 説明を聞いていただいた来場者は狙いとしたユーザー層でしたか？



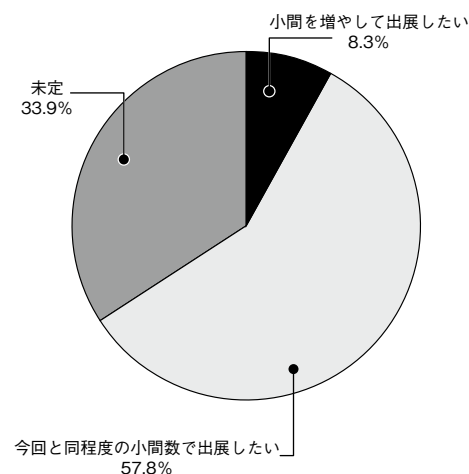
□ 開催期間については何日が望ましいですか？



□ 搬入期間は何日がよろしいですか？



□ 次回の出展について
（2015年・東京ビッグサイトで開催予定）



MF-Tokyo 2013 広報宣伝活動

【広告・広報】

種別	媒体名	掲載日	出稿サイズ	発行・出版元
新聞	日刊工業新聞	5/15・5/30・7/18 6/14・6/19・6/25・6/27・7/2・7/4・7/9・7/11・7/23 7/23・会場内配布	全面(カラー) 全5段 企画特集別刷り8ページ	日刊工業新聞社
	日刊自動車新聞	5/23・5/28・7/11	全4段	日刊自動車新聞社
	日本物流新聞	5/25・7/10	5段 1/2	日本物流新聞社
	ガスメディア	6/25	全3段	ガスメディア社
	ばね新聞	7/1 7/24	全6段 全3段	ばね新聞社
	金型しんぶん	7/3	全3段(カラー)	金型新聞社
	レーザ新報	7/8	5段 1/2	新報
	商経機械新聞	7/25	全5段	商工経済新聞社
WEB	MF-Tokyo 2013公式WEB	5/15来場事前登録開始		
雑誌・機関誌	プレス技術	7月号 8月号	2ページ 1ページ(カラー) 特別企画「誌上展」150ページ	日刊工業新聞社
	型技術	8月号	1ページ(カラー)	日本金属プレス工業協会 機関誌
	JMSA News Letter No.84	7月号	1ページ(カラー)	日本金属プレス工業協会 機関誌
	JGMA News 第36号	7月号	1ページ(カラー)	日本歯車工業会 会誌
	塑性と加工	5月号・6月号	1ページ(カラー)	日本塑性加工学会 会誌
	ねじの世界	6月号	1ページ	ねじの世界社
	溶接技術	6月号 8月号	1ページ(カラー) 1ページ	産報出版

【記事】

種別	媒体名	掲載日	記事内容	発行・出版元
新聞	日刊工業新聞	3/21	188社・団体が競演「MF-Tokyo 2013」	日刊工業新聞社
		6/11	「MF-Tokyo 2013」紹介 日本鍛圧機械工業会	
		6/12	出展者インタビュー トルンブ	
		6/13	出展者インタビュー コマツ産機	
		6/14	出展者インタビュー 村田機械	
		6/17	出展者インタビュー 三菱電機	
		6/18	出展者インタビュー ヤマザキマザック	
		6/19	出展者インタビュー オリイメック / 旭精機工業 / しのはらプレスサービス / 阪村機械製作所	
		6/20	出展者インタビュー 山田ドビー / 協和マシン / コニック / 旭サナック	
		6/25	出展者インタビュー サルパニーニジャパン / アイダエンジニアリング / 富士機工 / エイチアンドエフ	
		6/26	出展者インタビュー 放電精密加工研究所 / 協易機械工業 / アミノ / アイシス	
		6/27	出展者インタビュー 住友重機械工業 / 栗本鐵工所 / 型研精工 / 新興機械工業	
		7/2	出展者インタビュー 日本電産シンボ / 日本ウエルディング / エステーリンク / 吉野機械製作所	
		7/3	出展紹介 コマツ産機 / サルパニーニジャパン / 村田機械 / しのはらプレスサービス / 阪村機械製作所 / 協和マシン / 板屋製作所	
		7/4	出展紹介 トルンブ / 三菱電機 / オリイメック / 協易機械工業 / アイダエンジニアリング / コニック / 日本電産シンボ / 富士機工	
		7/5	出展紹介 エイチアンドエフ / 栗本鐵工所 / 新興機械工業 / 日本ウエルディング / 吉野機械製作所 / 住友重機械工業 / パスカル / ユタニ	
		7/8	出展紹介 北越工業 / エステーリンク / 小島鐵工所 / 相澤鐵工所 / ハイウイン / マツモト産業 / 杉山電機システム / 三桂機械	
		7/9	出展紹介 ヤマザキマザック / 旭精機工業 / 放電精密加工研究所 / 山田ドビー / 旭サナック / ニッセー / 榎本機工	
		7/10	出展紹介 能率機械製作所 / ダイマック / タガミ・イーエクス / 中島田鉄工所 / 小森安全機研究所 / 太陽日酸 / ヤマナカコーキン / 中田製作所	
		7/11	出展紹介 日本オートマチックマシン / 森鉄工 / マコー / 丸昭機械 / メガテック / 澁谷工業 / シュマルツ / 富士スチール工業	
		7/17	出展紹介 型研精工 / アイセル / NTTデータエンジニアリングシステムズ / ニチダイ / 山本水圧工業所 / ユーロテック / エヌエスシー / 理研計器奈良製作所	
		7/18	出展紹介 アクア化学 / フラッター / 大峰工業 / 奥野機械製作所 / アミノ / コスメック / 川崎油工 / IHI	
		7/23	出展紹介 向洋技研 / 西島 / ファブエース / 大東スピニング / 理研オブテック / 三共製作所 / エー・ビーアンドティー / オプトン / トックス・リクス・プレソテック / 協同エンジニアリング	
		7/24	きょう開幕 「鍛圧機産業 好転の兆し」 (1ページ)	
		7/25	会場内レポート 「課題克服へ新提案」 「会場こぼれ話」 (1ページ)	
		7/26	会場内レポート 「攻勢かける海外勢」 「会場こぼれ話」 (1ページ)	
		7/29	閉幕のご報告	
	金型しんぶん	7/3 開催告知 8/10 終了報告		金型新聞社
	ガスメディア	7/10 開催告知 8/10 取材掲載		ガスメディア社
	商経機械新聞	6/13 開催告知 7/25 特集号 (5ページ)		商工経済新聞社
	日刊自動車新聞	8/1 終了報告 7/10 開催告知		日刊自動車新聞社
	日本物流新聞	8/6 出展者レポート 5/25 開催告知「前回よりもスケールアップ」 7/10 特集「MF-Tokyo 2013」 (3ページ) 8/10 会期後レポート「振り返りMF-Tokyo 2013 上」 8/25 会期後レポート「振り返りMF-Tokyo 2013 下」		日本物流新聞社
	ばね新聞	7/1 ばねゾーン新設 7/10 開催告知 (1ページ) 7/20 MF-Tokyo 2013 開催告知 7/24 号外「MF-Tokyo 2013 プレス・板金・フォーミング展」特集号 (8ページ) 9/10 会期後レポート		ばね新聞社
	レーザ新報	5/20 開催告知 7/8 「MF-Tokyo 2013 プレス・板金・フォーミング展」特集 (4ページ) 8/19 終了報告		新報
雑誌・機関誌	プレス技術	8月号	特集「プレス・板金・フォーミング展(MF-Tokyo 2013)ガイド」 (44ページ)	日刊工業新聞社
	ねじの世界	9月号	詳報「MF-Tokyo 2013に見る鍛圧機械・周辺技術の潮流」 (9ページ)	ねじの世界社
	生産財マーケティング	8月号	「MF-Tokyo 2013」過去最大の展示規模で開催 (9ページ)	ニュースダイジェスト社
		7月号	特別企画「MF-Tokyo 2013 プレス・板金・フォーミング展」 (4ページ)	
		9月号	「MF-Tokyo 2013」が盛況! (2ページ)	

【招待券・メール等】

配布物	数量	配布先	実施月日
招待券	出展者送付 32万枚	出展者からの動員用	4月下旬より配布
	主催者用 15万枚	・主催者保有リスト (過去来場者・登録者および日刊工業新聞紙誌読者・クライアント)	6月より送付・配布
		・関連展示会などでの配布	
		・日刊工業新聞社内支社支局DM ・関連工業会・協賛団体	
電子メール	約14万件	日刊工業新聞社メールアドレス	6月より配信
	約5万件	関連団体メールアドレス	
テレホンポイント	約15,000件	事前登録者へのリマインドメール	7/22・7/23
	約8,000件	招待券送付の案内・来場リマインド	7月上旬より

【場内配布】

配布物	数量	配布先
ガイドブック	35,000部	来場者
ハンディガイド	日英計40,000枚	

■来場者募集広告

(日刊工業新聞 全5段 2013.7.11付)

**プレス・板金・
フォーミング展**

METAL FORMING & FABRICATING FAIR TOKYO

マザーマシン鍛圧機械と
塑性加工・レーザ加工の技術の進化

MF-Tokyo 2013

会 期：2013年7月24日(水)～27日(土)
10:00～17:30 (土曜日は16:00まで)

会 場：東京ビッグサイト 東1・2・3ホール

主 催：JF一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 日刊工業新聞社

入場料：1,000円 事前登録者及び招待持参者は無料

いよいよ開幕迫る! WEB事前登録が 便利です。

MF-Tokyo2013 検索 <http://www.mf-tokyo.jp>

■ 学会テクニカルセミナー (会場: 学会テクニカルセミナー会場(東2ホール) 事務室) (定員: 各150名)

7月24日	7月25日	7月26日
11:00 超精密加工技術の最新動向 11:30 超精密加工技術の最新動向 12:00 超精密加工技術の最新動向 12:30 超精密加工技術の最新動向 13:00 超精密加工技術の最新動向 13:30 超精密加工技術の最新動向 14:00 超精密加工技術の最新動向 14:30 超精密加工技術の最新動向 15:00 超精密加工技術の最新動向 15:30 超精密加工技術の最新動向 16:00 超精密加工技術の最新動向	11:00 超精密加工技術の最新動向 11:30 超精密加工技術の最新動向 12:00 超精密加工技術の最新動向 12:30 超精密加工技術の最新動向 13:00 超精密加工技術の最新動向 13:30 超精密加工技術の最新動向 14:00 超精密加工技術の最新動向 14:30 超精密加工技術の最新動向 15:00 超精密加工技術の最新動向 15:30 超精密加工技術の最新動向 16:00 超精密加工技術の最新動向	11:00 超精密加工技術の最新動向 11:30 超精密加工技術の最新動向 12:00 超精密加工技術の最新動向 12:30 超精密加工技術の最新動向 13:00 超精密加工技術の最新動向 13:30 超精密加工技術の最新動向 14:00 超精密加工技術の最新動向 14:30 超精密加工技術の最新動向 15:00 超精密加工技術の最新動向 15:30 超精密加工技術の最新動向 16:00 超精密加工技術の最新動向

お問い合わせ先
TEL: 03-3432-4579 FAX: 03-3432-4804
URL: <http://www.j-fma.or.jp> E-mail: info@j-fma.or.jp

■来場者募集広告

(日刊工業新聞 全5段 2013.7.15付)

**プレス・板金・
フォーミング展**

METAL FORMING & FABRICATING FAIR TOKYO

マザーマシン鍛圧機械と
塑性加工・レーザ加工の技術の進化

MF-Tokyo 2013

会 期：2013年7月24日(水)～27日(土)
10:00～17:30 (土曜日は16:00まで)

会 場：東京ビッグサイト 東1・2・3ホール

主 催：JF一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 日刊工業新聞社

入場料：1,000円 事前登録者及び招待持参者は無料

いよいよ開幕迫る! WEB事前登録が 便利です。

MF-Tokyo2013 検索 <http://www.mf-tokyo.jp>

■ 出展企業一覧 ※は共同出展

出展企業	出展企業	出展企業
100 株式会社 日本鍛圧機械工業会	101 株式会社 日本鍛圧機械工業会	102 株式会社 日本鍛圧機械工業会
103 株式会社 日本鍛圧機械工業会	104 株式会社 日本鍛圧機械工業会	105 株式会社 日本鍛圧機械工業会
106 株式会社 日本鍛圧機械工業会	107 株式会社 日本鍛圧機械工業会	108 株式会社 日本鍛圧機械工業会
109 株式会社 日本鍛圧機械工業会	110 株式会社 日本鍛圧機械工業会	111 株式会社 日本鍛圧機械工業会
112 株式会社 日本鍛圧機械工業会	113 株式会社 日本鍛圧機械工業会	114 株式会社 日本鍛圧機械工業会
115 株式会社 日本鍛圧機械工業会	116 株式会社 日本鍛圧機械工業会	117 株式会社 日本鍛圧機械工業会
118 株式会社 日本鍛圧機械工業会	119 株式会社 日本鍛圧機械工業会	120 株式会社 日本鍛圧機械工業会
121 株式会社 日本鍛圧機械工業会	122 株式会社 日本鍛圧機械工業会	123 株式会社 日本鍛圧機械工業会
124 株式会社 日本鍛圧機械工業会	125 株式会社 日本鍛圧機械工業会	126 株式会社 日本鍛圧機械工業会
127 株式会社 日本鍛圧機械工業会	128 株式会社 日本鍛圧機械工業会	129 株式会社 日本鍛圧機械工業会
130 株式会社 日本鍛圧機械工業会	131 株式会社 日本鍛圧機械工業会	132 株式会社 日本鍛圧機械工業会
133 株式会社 日本鍛圧機械工業会	134 株式会社 日本鍛圧機械工業会	135 株式会社 日本鍛圧機械工業会
136 株式会社 日本鍛圧機械工業会	137 株式会社 日本鍛圧機械工業会	138 株式会社 日本鍛圧機械工業会
139 株式会社 日本鍛圧機械工業会	140 株式会社 日本鍛圧機械工業会	141 株式会社 日本鍛圧機械工業会
142 株式会社 日本鍛圧機械工業会	143 株式会社 日本鍛圧機械工業会	144 株式会社 日本鍛圧機械工業会
145 株式会社 日本鍛圧機械工業会	146 株式会社 日本鍛圧機械工業会	147 株式会社 日本鍛圧機械工業会
148 株式会社 日本鍛圧機械工業会	149 株式会社 日本鍛圧機械工業会	150 株式会社 日本鍛圧機械工業会

お問い合わせ先
TEL: 03-3432-4579 FAX: 03-3432-4804
URL: <http://www.j-fma.or.jp> E-mail: info@j-fma.or.jp

■来場者募集広告

(日刊工業新聞 全5段 2013.7.23付)

**プレス・板金・
フォーミング展**

METAL FORMING & FABRICATING FAIR TOKYO

マザーマシン鍛圧機械と
塑性加工・レーザ加工の技術の進化

MF-Tokyo 2013

会 期：2013年7月24日(水)～27日(土)
10:00～17:30 (土曜日は16:00まで)

会 場：東京ビッグサイト 東1・2・3ホール

主 催：JF一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 日刊工業新聞社

入場料：1,000円 事前登録者及び招待持参者は無料

いよいよ開幕迫る! WEB事前登録が 便利です。

MF-Tokyo2013 検索 <http://www.mf-tokyo.jp>

■ 特別講演 1 シンポジウム形式 (会場: 会場1階 レセプションホール8)

講演題目	講演者	講演時間
「サーボプレスの進化について」	高橋 進氏	7月24日(水) 14:00-15:30
「熱間鍛造プレスの進化について」	石川 孝司氏	7月25日(木) 14:00-15:30
「ファイバーレーザ加工機の進化について」	宮名 宗春氏	7月26日(金) 14:00-15:30
「CFRP加工法の進化」	小川 繁樹氏	7月27日(土) 11:00-12:00

お問い合わせ先
TEL: 03-3432-4579 FAX: 03-3432-4804
URL: <http://www.j-fma.or.jp> E-mail: info@j-fma.or.jp

MF-Tokyo 2013

プレス・板金・フォーミング展
マザーマシン鍛圧機械と
塑性加工・レーザ加工の技術の進化

2013年7月24日(水)→27日(土)

会場:東京ビッグサイト 東1・2・3ホール
主催:JF一般社団法人 日本鍛圧機械工業会・日刊工業新聞社

English 中文 한국어

来場事前登録 ▶
シンポジウム・講演会
セミナー登録
会場に直接入場できる「入場証」
を発行いたします
(7月14日登録分まで)

出展者検索

団体来場登録申込書

HOME
開催にあたって
開催概要
出展対象
出展企業一覧
シンポジウム・講演会
日本塑性加工学会セミナー
出展者テクニカルセミナー
会場図ダウンロード
ロゴダウンロード
アクセス
お問い合わせ

出展者専用ページ

2011年経理報告

新着情報 受付近は大変混雑が予想されます。WEBにて事前登録をいただいたお客様には受付!



会期:2013年7月24日(水)→27日(土) 10:00~17:30
(土曜日は16:00まで)

会場:東京ビッグサイト 東1・2・3ホール

主催:JF一般社団法人 日本鍛圧機械工業会・日刊工業新聞社

MF-Tokyo 2013

プレス・板金・フォーミング展
マザーマシン鍛圧機械と
塑性加工・レーザ加工の技術の進化

2013年7月24日(水)→27日(土)

会場:東京ビッグサイト 東1・2・3ホール
主催:JF一般社団法人 日本鍛圧機械工業会・日刊工業新聞社

HOME ▶ 出展対象

English 中文 한국어

出展対象

English

来場事前登録 ▶
シンポジウム・講演会
セミナー登録
会場に直接入場できる「入場証」
を発行いたします
(7月14日登録分まで)

出展者検索

団体来場登録申込書

HOME
開催にあたって
開催概要
出展対象
出展企業一覧
シンポジウム・講演会
日本塑性加工学会セミナー
出展者テクニカルセミナー
会場図ダウンロード
ロゴダウンロード
アクセス
お問い合わせ

出展者専用ページ

機械プレス

サーボプレス、高速精密自動プレス、C形プレス、ストレートサイドプレス、トランスファプレス、冷間鍛造プレス、熱間鍛造プレス、粉末成形プレス 他

油圧プレス

油圧サーボプレス、ファインランキンングプレス、ダイスポッティングプレス、ハイドロフォーミングプレス、粉末成形プレス、CFRP成形プレス 他

フォーミングマシン

パーツフォーマ、パイプフォーミングマシン、ワイヤーフォーミングマシン、転造機、インクリメンタルフォーミング機(ダイレスNC加工機)、伸縮機、ヘッダー 他

自動化装置

送り装置、コイルフィーダーライン、レベラーフィーダー、ロボットライン、搬送コンベア 他

安全装置

光線式安全装置、PSDI、ロードモニター 他

金型

プレス用金型、鍛造用金型、板金用金型、フォーミング用金型 他

板金機械

レーザ加工機、プラズマ加工機、ウォータージェット加工機、パンチングプレス、プレスブレーキ、シャーリングマシン、パネルバンディングマシン 他

表面処理

バリ取り機、防錆・防食関連、洗浄機 他

溶接装置

レーザ溶接機、スポット溶接機、アーク溶接機、ガス溶接機 他

設計・製造システム

CAD/CAM、CAE、ラピッドプロトタイプング、生産管理システム 他

MF-Tokyo 2013

プレス・板金・フォーミング展
マザーマシン鍛圧機械と
塑性加工・レーザ加工の技術の進化

2013年7月24日(水)→27日(土)

会場:東京ビッグサイト 東1・2・3ホール
主催:JF一般社団法人 日本鍛圧機械工業会・日刊工業新聞社

HOME ▶ 出展企業一覧

English 中文 한국어

出展企業一覧

English

来場事前登録 ▶
シンポジウム・講演会
セミナー登録
会場に直接入場できる「入場証」
を発行いたします
(7月14日登録分まで)

出展者検索

団体来場登録申込書

HOME
開催にあたって
開催概要
出展対象
出展企業一覧
シンポジウム・講演会
日本塑性加工学会セミナー
出展者テクニカルセミナー
会場図ダウンロード
ロゴダウンロード
アクセス
お問い合わせ

出展者専用ページ

※印は共同出展者 (2013年5月15日現在)

出展企業	予定出展物
アイリス	プレス プレスショップFAソリューション
相澤機工所	サーボプレスブレーキ、ファインシャーリング
アイシス	ストレートサイド型精密高速プレス IS1S-110S ツインドライブ超高速超精密プレス V1VO18LW
アイセル	摩耗抵抗性合金 FSW ガイドローラー溶接装置 GRW-500
アイダエンジニアリング	サーボプレス、近代化事例のご紹介。
アタ化学	加工油・洗浄システム
旭サナック	パーツフォーマ SFS0-6
旭精機工業	トランスファプレス 1台、フォーミングマシン 1台、ばね機械 4台
アジア技研	
アブリッドデザイン	ロール成形ソフト COPRA、プレス成形ソフト STAMPACK
アミノ	厚板ダイレスNCフォーミング
イグス	ケーブル保護管、機械用可動ケーブル
石岡工機	プレス製品サンプルケース パネルの展示
YIH SHEN MACHINERY	
板屋製作所	スプリングマシン スプリングフォーミングセンター
イリス	
※FELSS	
WINSON MACHINERY	
エイチアンドエフ	プレス・自動化装置のビデオ放映・写真展示
エイム	YAGレーザ溶接機 溶接治具
エー・ピー・アンド・エー	製品サンプル提供

AIDAのサーボは **DSF**
Direct Servo Former

 **アイダエンジニアリング株式会社**
本社 〒252-5181 神奈川県相模原市緑区大山町2-10
Tel. 042-772-5231 内線: Fax. 042-772-5261
ホームページアドレス: <http://www.aida.co.jp/>



MF-Tokyo2013

第 2 部 2013 年(平成 25 年) 7 月 23 日(火曜日) 1

(五) 其他应付款

ごあいさつ



日本鋸圧機械工業会
代表理事会長

八木隆

日本から世界へ発信

それまでなかった銅は高価

[illegible]

いってから説き
く変化してき
のMFTの
で実感してい
います。

MF-Tokyo2013
プレス・板金・フォーミング展



国指定重要文化財の「横須賀製鉄所・1865年オランダ製3トン
門形スチームハンマー」。日本の鍛圧機械の原点ともいえる。
〔写真提供・横須賀市自然・人文博物館〕

7月 24日—27日 東京ビッグサイト
mf-tokyo.jp

3月20日、ブルース・坂金、フー・イ・ツァン、
 趙・ホ・リ・グの組合が主催する「MFTT」
 展が24日から27日までの4日間、東京・有明
 の東京ビッグサイトホール3と4が開設され、
 今午の日は日産技術展示会と日清工業新展
 台。主催のテーマは「マザーマシン駆動機械と
 塑性加工・レザ加工の技術の進化」(国内外
 から「サビ」を断根する。入場料は0.00
 円)。招待券持参者・事業担当者無料。開場時
 間は10時から17時半(最終日は16時)まで。



時代はファイバーレーザー(TruDisk)へ——
節電対策&投資効率をきわめる
レーザ加工ソリューション、登場。

板金加工を変えるレーザネットワーク——
高機能複合機「TruMatic 6000 fiber」新登場。

高いレーザ技術で常に世界をリードするトルンプ社から、最先端パンチ加工技術を搭載した高機能パンチレーザ複合機「TruMatic 6000 fiber」が新登場。高精度を維持しながら異次元の生産性を実現し、銅アルミ、真鍮、鋼などの高放射材の効率的加工を可能としました。「トルンプレーザネットワーク」を標準搭載し、板金加工の新たなイノベーションが始まります。



NEW 高機能パンチレーザ複合機
TruMatic 6000 fiber



TruLaser S030 fiber



レーザ見逃し
TopDisk 3001



レーザ彫削ロボット
TruLaser Robot



レーザーハンド装置
TruLaser Handy



トリンプ株式会社
〒228-0006 横浜市緑区白山1-18-2
TEL. 045-931-5710 FAX. 045-931-5714
E-mail info@jp.trumpf.com
www.jp.trumpf.com



「レーザーネットワーク」が切可開く、現金加工の素人まで修めください。

188社・団体が競演

日本鍛圧機械工業会、日刊工業新聞社は7月24-27日に東京ビッグサイト(東京都江東区)で、「MF-Tokyo2013 プレス・板金・フォーミング展」を開く。3回目の開催となる今回は、「マザーマシン鍛圧機械と塑性加工・

MF-Tokyo、7月開催

日鍛工など主催

ス、熱間鍛造プレス、レーザー加工機などの最新の技術紹介シンポジウムをはじめ、日本塑性加工学会によるセミナーや出展者テクニカルセミナーなども連日開催する。入場料1000円(公式ホームページからの事前登録および招待券持参者は無料)。問い合わせは日刊工業新聞社(03・5644・7221)へ。

■連載記事

(日刊工業新聞 2013.6.11付)

過去最高の197社出展

MF-Tokyo2013(東京ビッグサイト)7月24-27日

鍛圧機械と塑性加工、レーザー加工の最新技術・製品の専門展示会「MF-Tokyo2013 プレス・板金・フォーミング展」(日本鍛圧機械工業会、日刊工業新聞社主催)が7月24日から27日までの4日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開かれる。過去最高の197社が出展し、来場者も2割増の3万5000人を見込む。日鍛工の八木隆会長(アライエンシスアライメント取締役執行役員)に鍛圧機械業界を取り巻く環境や展示開催の狙いを聞いた。

八木 隆氏

日本鍛圧機械工業会会長



環境性能一段と重視

「は古い機械置き換え」は古い機械置き換え、環境性能に優れた機械を求めている。プレス機械はサーボプレスが主流で、熱間鍛造もサーボ化している。自動車メーカーは、熱間鍛造もサーボ化している。自動車メーカーは、熱間鍛造もサーボ化している。

「省エネに貢献 新技術が結集」産業は大変革期にある。省エネに貢献する新技術が結集する。産業は大変革期にある。省エネに貢献する新技術が結集する。

「記者の目」省エネに貢献 新技術が結集 産業は大変革期にある。省エネに貢献する新技術が結集する。産業は大変革期にある。省エネに貢献する新技術が結集する。

サルバニーニジャパン社長



松野
雄次
氏

―市場環境は、
「アペノミクス」が始
まる前の昨年10月以前
は円高で追い風のはず
だったが、投資意欲が低
く、受注に結びつかな
った。一方、今は円安で太
きな逆風だが、明るい兆
しが見えている。今年3
月以降は受注件数が増え

「山に登っているようだ」
「どのように攻めてい
きますか。」

「ファイバーレーザ」展示会の抱負は、

「世界2カ国で280万台の納入実績があるフジイパーレーザ加工機の国内での普及を急ぎたい。タレットパンチプレスや古いレーザ加工機シグネコストの安さをア

置き換え促し国内普及

新規も増加。引き合い件数は前年同期比約3倍になっている。険しい谷を抜け、晴れ晴れしたからの置き換えを促し、新しい技術を根付かせる。そして主力製品のパネルベンダーの拡張につなげる。今の引き合いが、前年度比2倍から見れば、前年度比2倍以上の受注をやらなければ

（南大阪支局長・森野 学彦）

学彦



会田
仁
氏

「特に家電やコンプレッサー、モーター関連は日本の強み。日中関係が悪化する前から設備が過剰気味。日中関係の悪化は自動車産業に打撃が大きい。北米や東南アジア向けの販売が好調です。」

画の方針を聞かせてください。

「日本の中小企業が新

間は緩やかな成長を続けたい。一方で踊り場の到来に備え、サービス事業を強化する。新商品開発は車以外の分野にも適用可能な中型、小型プレスとする」(斉藤隆一)

サーボ機進化型 披露

ていて、その投資は冷えていった。追いつきに乘っている。しかし、いつかは通工場は内需だけでなく海外輸出も考えている」

——現中期計画は最終年度を迎えました。次期計画を再強化する。またサボ化の推進に向け、品質や機能は維持しつつ、部材の標準化などでコストを下げた機械を供給していくたい

——「MF-Tokyo

12

エイチアンドエフ社長
宗田 世一



宗田
世一
氏

―受注が好調のようですね。

「過去最高の受注高となっている。仕向け先はタイが多く、当社の売り

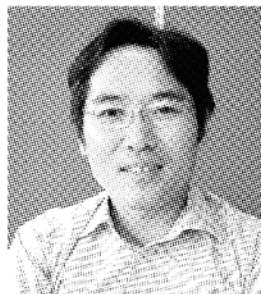
メキシコは米国が好調なため計画が後ろ倒しになっている。中国は今年度から徐々に動きが出てきた」

新興国向けライン提案

現地生産が主流になり、進出時にしっかりと製品を採用してもらえようサービス充実が必要。一方で初期コストを抑えられるよう、汎用のサーボモータを使ったラインの提案など工夫も求められる」

（大阪・石橋弘彰）

石橋弘彰)



富士機工社長

柴崎
一正
氏

「一足元の受注状況は、
「問い合わせ件数は前
年同期よりも増えている
が、実際の受注ペースで
見るとほとんど変わらない
と、期待を感じている」

特色ある製品アピール

が海外設備で購入するにも取り組む。営業も組
ケースが徐々に増えている。立作業に携わるなど多能
工化したい。生産性向上
からの問い合わせも増えては
きた。日本の高い技術
を生かしたモノづくりが
海外で拡大すれば、それ

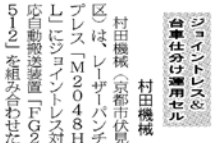
（西東京・大島直之）

大島直之



高性能ファイバーレーザー
コマツ産機

鍛造機械と切削加工、レーザー加工の最新技術・製品の展示会「MF Tokyo 2013 プレス・板金・フォーミング展」(日本鍛造機械工業会、日刊工業新聞社主催)の開幕が24日迫っている。主要出展企業の展示内容を紹介する。



ジョイントレス台車仕分け専用セル
村田機械

はレーザー加工機「レーザー加工機」を展示する。初の自社開発のレーザー発振器を搭載したレーザー加工機「レーザー加工機」を展示する。

村田機械(京都市伏見区)は、レーザーパンチプレス「M2048H」にジョイントレス対応自動搬送装置「EG25-1」を組み合わせた

型電動ハネルベンダー「P1」を展示する。P1は全自動で複雑形状の曲げ加工が可能。設置面積が2×4メートル。省スペースを実現した。Lはメテタン

ジョイントレスと台車仕分け専用セルを展示する。M2048Hでは高品質な複合加工を実現。ターレットパンチプレス「M2048H」は、レーザーパンチプレス(千原製機)と、プレス機の自動駆動式安全装置「ジャックガード」を新製品を展

型電動ハネルベンダー「P1」を展示する。P1は全自動で複雑形状の曲げ加工が可能。設置面積が2×4メートル。省スペースを実現した。Lはメテタン

自動駆動式安全装置「ジャックガード」を新製品を展

型電動ハネルベンダー「P1」を展示する。P1は全自動で複雑形状の曲げ加工が可能。設置面積が2×4メートル。省スペースを実現した。Lはメテタン

自動駆動式安全装置「ジャックガード」を新製品を展

型電動ハネルベンダー「P1」を展示する。P1は全自動で複雑形状の曲げ加工が可能。設置面積が2×4メートル。省スペースを実現した。Lはメテタン

自動駆動式安全装置「ジャックガード」を新製品を展

型電動ハネルベンダー「P1」を展示する。P1は全自動で複雑形状の曲げ加工が可能。設置面積が2×4メートル。省スペースを実現した。Lはメテタン

自動駆動式安全装置「ジャックガード」を新製品を展

型電動ハネルベンダー「P1」を展示する。P1は全自動で複雑形状の曲げ加工が可能。設置面積が2×4メートル。省スペースを実現した。Lはメテタン

自動駆動式安全装置「ジャックガード」を新製品を展

型電動ハネルベンダー「P1」を展示する。P1は全自動で複雑形状の曲げ加工が可能。設置面積が2×4メートル。省スペースを実現した。Lはメテタン

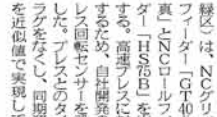
自動駆動式安全装置「ジャックガード」を新製品を展

型電動ハネルベンダー「P1」を展示する。P1は全自動で複雑形状の曲げ加工が可能。設置面積が2×4メートル。省スペースを実現した。Lはメテタン

自動駆動式安全装置「ジャックガード」を新製品を展

型電動ハネルベンダー「P1」を展示する。P1は全自動で複雑形状の曲げ加工が可能。設置面積が2×4メートル。省スペースを実現した。Lはメテタン

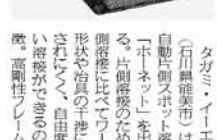
自動駆動式安全装置「ジャックガード」を新製品を展



NCグリッパ
ファイダー
ダイマック

ダイマック(名古屋市緑区)は、NCグリッパファイダー「QT40」等を展示する。QT40は、高速度の無塵の影を写す。高速度の無塵の影を写す。高速度の無塵の影を写す。

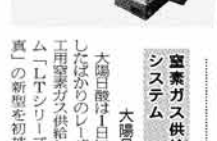
ダイマック(名古屋市緑区)は、NCグリッパファイダー「QT40」等を展示する。QT40は、高速度の無塵の影を写す。高速度の無塵の影を写す。高速度の無塵の影を写す。



全自動片側溶接機
スポーツ溶接機
ダイマック

ダイマック(名古屋市緑区)は、NCグリッパファイダー「QT40」等を展示する。QT40は、高速度の無塵の影を写す。高速度の無塵の影を写す。高速度の無塵の影を写す。

ダイマック(名古屋市緑区)は、NCグリッパファイダー「QT40」等を展示する。QT40は、高速度の無塵の影を写す。高速度の無塵の影を写す。高速度の無塵の影を写す。



中島鉄工所
プレスブレーキ用安全装置
小森安全機研研究所

中島鉄工所(福岡県中島郡)は、プレスブレーキ用安全装置「安全装置」を展示する。安全装置は、プレスブレーキ用安全装置「安全装置」を展示する。

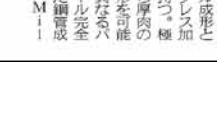
中島鉄工所(福岡県中島郡)は、プレスブレーキ用安全装置「安全装置」を展示する。安全装置は、プレスブレーキ用安全装置「安全装置」を展示する。



大陽日酸
システム
大陽日酸

大陽日酸(白河市)は、システム「システム」を展示する。システムは、システム「システム」を展示する。

大陽日酸(白河市)は、システム「システム」を展示する。システムは、システム「システム」を展示する。



中田製作所
次世代型成形機
中田製作所

中田製作所(大阪府中田)は、次世代型成形機「次世代型成形機」を展示する。次世代型成形機は、次世代型成形機「次世代型成形機」を展示する。

中田製作所(大阪府中田)は、次世代型成形機「次世代型成形機」を展示する。次世代型成形機は、次世代型成形機「次世代型成形機」を展示する。

MF-Tokyo きょう開幕

2013社・団体出展

塑性加工技術の専門展示会「MF-Tokyo 2013 プレス・板金・フォーミング展」(日本鍛冶機械工業会、日刊工業新聞社主催)が24日、東京・有明の東京ビッグサイトで開催する。

プレス機械、板金機械、フォーミング機械などの鍛冶機械やその周辺機器が一堂に集結。過去最多となる国内外201社・団体が1062小間に出展し、最新の加工技術を紹介する。会期は27日まで。3万5000人の来場を見込んでいる。

「最終面に関連記事」
「マザーマシン」鍛冶機械と塑性加工・レーザ加工の技術の進化」を副題に掲げ、加工の高機能化、生産性向上、環境配慮、省エネルギー化などを提案。サーボプレスや熱間鍛造プレス、ファイバーレーザ加工機、炭素繊維強化プラスチック(CFRP)加工法の最新動向に関する講演のほか、学会関係のセミナーを計25講座開く。

入場料は1000円。公式ホームページで事前登録すれば無料になる。

■MF-Tokyo開幕

(日刊工業新聞 2013.7.25付)

人口の多い地域に人材を重点的に配置する必要性がある。今回、地域会社を4社体制に再編することで県域に關係なくプロック内で社員を自由に異動させることを可能にする。

NTT東の体制の見直しに伴い、NTTソルコやテルウェル東日本などのフロント業務も14年7月までに一元化する。

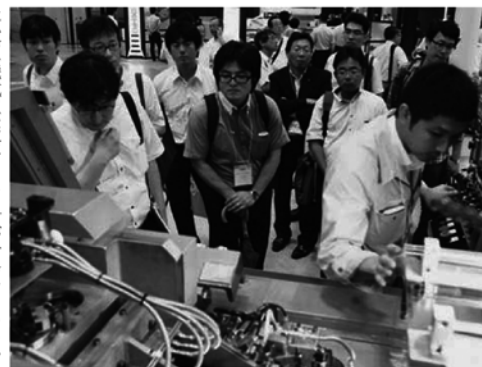
NTT東の主力事業の光回線サービスは普及が進み、さらに最近ではモバイル端末で十分という世帯もあつて解約の増加も目立つ。厳しい経営環境の中、業務の効率化で利益を創出する取り組みが求められている。

MF-Tokyo開幕 最新技術に熱い視線

塑性加工技術の専門展示会「MF-Tokyo 2013 プレス・板金・フォーミング展」(日本鍛冶機械工業会/日刊工業新聞社主催)が24日、東京・有明の東京ビッグサイトで開幕した。

加工能力が向上した機械の展示や、メーカー各社が討論するシンポジウムなどを通し、鍛冶機械業界における最新の技術動向を紹介する。

(7面に関連記事)
3回目となる今回は内



会場には早朝から大勢の来場者が詰めかけた

外201社・団体が1062小間に出展。会場には早朝から詰めかけた大勢の来場者が居並ぶ最先端の機械に熱い視線を注いだ。

歓迎パーティーでは八木隆日鍛工代表理事会長(アイダエンジニアリング取締役常務執行役員)が「出展規模は毎回20%ずつ伸びており、期待の表れと思っている。世界に誇るMF-Tokyoを目指し、一層の努力をしていく」とあいさつ。

木村作斗経済産業省製造産業局素形材産業室室長補佐は「直接のビジネス

チャンスにつながるような活気のある場になることを祈っている」と期待を示した。

会期は27日まで。3万5000人の来場を見込む。

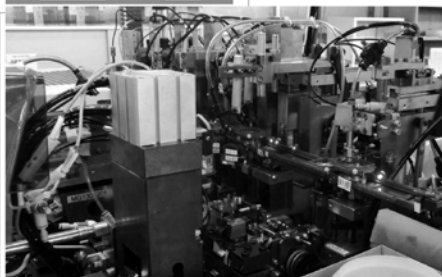
記事コピー・転載の問い合わせは
日刊工業新聞社著作権管理センター
TEL 03-5644-7101
http://www.nikkan.co.jp
日刊工業 検索

2013年
7月24日
水曜日

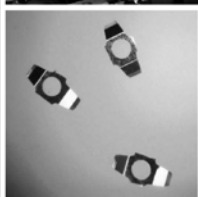
日刊工業新聞

●購読のお申し込みは
フリーダイヤル
0120-412346
東京 0120-597117
名古屋 0120-462346
大阪 0120-671120

理工学書・専門書は...
Nikkan BookStore
日刊工業 本 検索
日刊工業新聞社出版局のホームページ
http://pub.nikkan.co.jp/



●シチズン平和時計のマイクロプレスユニット
●顕微鏡でみた針座。長さ1.35mm



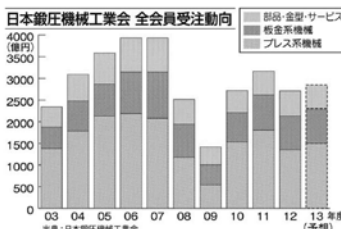
長さ1.35mm/厚さ63μm
微細部品の「針座」

「風変わりなプレス工程」
シチズン時計は、長年、精密な時計の製造に力を入れている。その中でも、特に重要な工程として、針座の製造が挙げられる。針座とは、時計の針を支えるための小さな部品で、その精度が時計の正確さを決める重要な要素の一つである。シチズン時計は、この針座の製造に、最新のマイクロプレス技術を採用している。この技術は、従来のプレス技術よりも、さらに高精度で、小さな部品を製造できるという特徴がある。シチズン時計は、この技術を活用して、より高精度な針座を製造し、その品質を向上させている。また、シチズン時計は、針座の製造工程を自動化している。これにより、生産性を向上させ、コストを削減している。シチズン時計は、今後も、この技術を活用して、より高精度な時計の製造に取り組んでいく予定である。

シチズン、生産性向上

シチズン時計は、長年、精密な時計の製造に力を入れている。その中でも、特に重要な工程として、針座の製造が挙げられる。針座とは、時計の針を支えるための小さな部品で、その精度が時計の正確さを決める重要な要素の一つである。シチズン時計は、この針座の製造に、最新のマイクロプレス技術を採用している。この技術は、従来のプレス技術よりも、さらに高精度で、小さな部品を製造できるという特徴がある。シチズン時計は、この技術を活用して、より高精度な針座を製造し、その品質を向上させている。また、シチズン時計は、針座の製造工程を自動化している。これにより、生産性を向上させ、コストを削減している。シチズン時計は、今後も、この技術を活用して、より高精度な時計の製造に取り組んでいく予定である。

MF-tokyo 2013 プレス・板金・フォーミング展



鍛圧機械産業 好転の兆し



中国市場に復調の気配

アイダエンジニアは中国で自動車メーカーへの導入を始めている。アイダエンジニアは、中国市場に復調の気配を感じている。中国市場は、近年、自動車産業の成長が著しく、自動車メーカーからの需要が増えている。アイダエンジニアは、この需要に応えるために、中国市場に積極的に進出している。アイダエンジニアは、中国市場に、最新のプレス技術を提供している。この技術は、従来のプレス技術よりも、さらに高精度で、小さな部品を製造できるという特徴がある。アイダエンジニアは、この技術を活用して、中国市場に、より高精度な部品の製造を提供している。また、アイダエンジニアは、中国市場に、最新のプレス設備を導入している。この設備は、従来のプレス設備よりも、さらに高精度で、小さな部品を製造できるという特徴がある。アイダエンジニアは、この設備を活用して、中国市場に、より高精度な部品の製造を提供している。アイダエンジニアは、今後も、中国市場に積極的に進出していく予定である。

中国市場に復調の気配

アイダエンジニアは中国で自動車メーカーへの導入を始めている。アイダエンジニアは、中国市場に復調の気配を感じている。中国市場は、近年、自動車産業の成長が著しく、自動車メーカーからの需要が増えている。アイダエンジニアは、この需要に応えるために、中国市場に積極的に進出している。アイダエンジニアは、中国市場に、最新のプレス技術を提供している。この技術は、従来のプレス技術よりも、さらに高精度で、小さな部品を製造できるという特徴がある。アイダエンジニアは、この技術を活用して、中国市場に、より高精度な部品の製造を提供している。また、アイダエンジニアは、中国市場に、最新のプレス設備を導入している。この設備は、従来のプレス設備よりも、さらに高精度で、小さな部品を製造できるという特徴がある。アイダエンジニアは、この設備を活用して、中国市場に、より高精度な部品の製造を提供している。アイダエンジニアは、今後も、中国市場に積極的に進出していく予定である。



コマツ産機はサーボプレス大型受注を獲得した

プレス産業

東南アで高まる存在感

コマツ産機はサーボプレス大型受注を獲得した。コマツ産機は、東南アジア市場で高まる存在感を感じている。東南アジア市場は、近年、自動車産業の成長が著しく、自動車メーカーからの需要が増えている。コマツ産機は、この需要に応えるために、東南アジア市場に積極的に進出している。コマツ産機は、東南アジア市場に、最新のプレス技術を提供している。この技術は、従来のプレス技術よりも、さらに高精度で、小さな部品を製造できるという特徴がある。コマツ産機は、この技術を活用して、東南アジア市場に、より高精度な部品の製造を提供している。また、コマツ産機は、東南アジア市場に、最新のプレス設備を導入している。この設備は、従来のプレス設備よりも、さらに高精度で、小さな部品を製造できるという特徴がある。コマツ産機は、この設備を活用して、東南アジア市場に、より高精度な部品の製造を提供している。コマツ産機は、今後も、東南アジア市場に積極的に進出していく予定である。

北米 増産投資に対応 南米

コマツ産機は、北米市場で増産投資に対応している。北米市場は、近年、自動車産業の成長が著しく、自動車メーカーからの需要が増えている。コマツ産機は、この需要に応えるために、北米市場に積極的に進出している。コマツ産機は、北米市場に、最新のプレス技術を提供している。この技術は、従来のプレス技術よりも、さらに高精度で、小さな部品を製造できるという特徴がある。コマツ産機は、この技術を活用して、北米市場に、より高精度な部品の製造を提供している。また、コマツ産機は、北米市場に、最新のプレス設備を導入している。この設備は、従来のプレス設備よりも、さらに高精度で、小さな部品を製造できるという特徴がある。コマツ産機は、この設備を活用して、北米市場に、より高精度な部品の製造を提供している。コマツ産機は、今後も、北米市場に積極的に進出していく予定である。

プラストマシン
最高の下地。
粉塵をシャットアウト
表面処理全般。
厚物鉄工機式設計

パネューム・プラステーター
● 本社 072-882-3814
● 営業 03-3537-6816

第3種郵便物認可 第1298号

Hart Media

2013年(平成25年)7月10日 日本物流新聞 6

MF-Tokyo 2013

鍛圧加工と塑性・レーザー加工

いよいよ7月24日から

東京ビッグサイト



鍛圧加工工程の自動化が目指される

出展社3,6割増

鍛圧機械の

世界2大見本市に

「MF-Tokyo 2013」は、この

と、今年第10回目を迎

を、塑性加工・鍛圧工

を中心とした最新の

ドットを、一挙に集

だ。過去最大の規模

に、鍛圧機械の世界

市の一として知ら

になった。出展社

の1/3増え、約48

社、そのうち約30

2013年7月24日

上り、約100社

遊ポイントの、

と目している。

関係者、約1,000

展では、マザー

と塑性加工・レ

多様化する技術

分、拡充されるこ

いう、また、塑性

は、材料力を加

形、目的とする

出す、目的を

機とは、明ら

る、海外はレ

と目している。

関係者、約1,000

展では、マザー

と塑性加工・レ

多様化する技術

分、拡充されるこ

いう、また、塑性

は、材料力を加

形、目的とする

出す、目的を

2013社/1062小間、規模拡大し開催

2013社/1062小間、規模拡大し開催



サボへの関心は、今年も、コッパレの展示で高まった。

出展品に多様性

セミナーも充実

「MF-Tokyo 2013」の

の舞台は、東京ビッグ

サ、車、バイク、

の、車、バイク、

の、車、バイク、

の、車、バイク、

の、車、バイク、

の、車、バイク、

の、車、バイク、

の、車、バイク、

の、車、バイク、

の、車、バイク、

の、車、バイク、

の、車、バイク、

の、車、バイク、

の、車、バイク、

の、車、バイク、

の、車、バイク、

MF 前回展
プレイバック

MF 前回展
プレイバック

MF 前回展
プレイバック

MF 前回展
プレイバック

MF 前回展
プレイバック

MF 前回展
プレイバック

MF 前回展
プレイバック

MF 前回展
プレイバック

名称	MF-Tokyo 2013 プレス・板金・フォーミング展
副題	「マザーマシン鍛圧機械と塑性加工・レーザー加工の技術の進化」
会期	2013年7月24日(水)～27日(土)
開催時間	10:00～17:30 (土曜日は16:00まで)
会場	東京ビッグサイト東1・2・3ホール
主催	一般社団法人 日本鍛圧機械工業会/日刊工業新聞社
後援	経済産業省/厚生労働省/環境省/横浜貿易教育委員会
特別協賛	日本塑性加工学会/日本鍛圧協会/日本金型プレス工業協会/日本金型工業会
協賛	日本自動車工業会/日本電機工業会/日本建設機械工業会/レーザー加工学会/日本建設協会(協賛・法人格)
海外協賛	中国机床工具工業協会/中国鍛圧協会/中国国際工業博覧会/インド工作機械工業会/アメリカ製造技術工業会/台湾区機器工業同業公会/韓国工作機械産業協会(協賛・法人格)
入場料	1,000円 ※招待券持参者及び事前登録者は無料
併催セミナー	基調講演・セミナーなど
出展者数(見込み)	201社(1062小間) ※7月5日現在
目標来場者数	35,000人

日本のモノづくりが生きる道を示す

コマツ ファイバーレーザ

KFL2051

世界最高水準の環境性能と生産性の両立を実現。自社開発の発振器により、切断時電気の大幅低減を実現しました。特殊ガス装置を標準装備。高精度、高圧室の構築でコスト削減します。

ハイドロACサーボ プレスブレーキ

PVS8525-NET

高い生産性能力と安全性・環境性を両立した油圧サーボモータ駆動プレスブレーキ。小型サーボモーターと油圧システムの組合せで、速い動作と高い下限位置繰り返し精度、環境・省エネ性能を同時に実現しました。

KOMATSU

コマツ産業株式会社

〒921-1101 石川県金沢市東山町7-101 ファブテクノセンター

TEL: 0761-58-4411 FAX: 0761-58-4411

URL: <http://www.komatsu-cs.co.jp>

プレス・板金・フォーミング展

マザーマシン鍛圧機械と塑性加工・レーザー加工の技術の進化

MF-Tokyo 2013

会期: 2013年7月24日(水)～27日(土) 10:00～17:30 (土曜日は16:00まで)

会場: 東京ビッグサイト 東1・2・3ホール

主催: JI-一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 / 日刊工業新聞社 入場料: 1,000円 ※事前登録者及び招待券持参者は無料

来場登録受付中!

出展者一覧・製品情報・セミナー詳細は

MF-Tokyo2013 検索 <http://www.mf-tokyo.jp>

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館3F

TEL: 03-5422-6279 FAX: 03-5422-4808

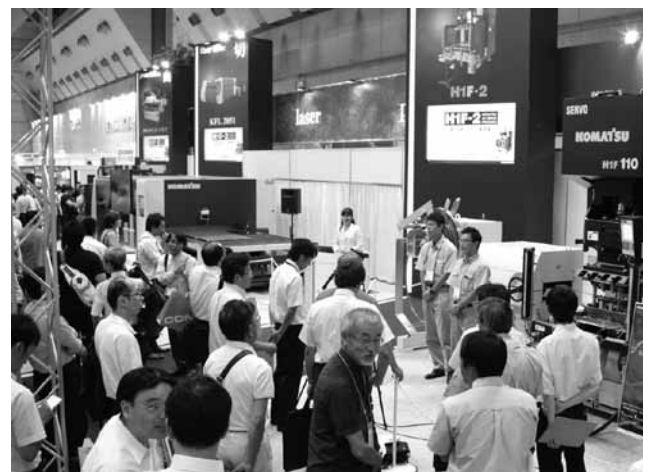
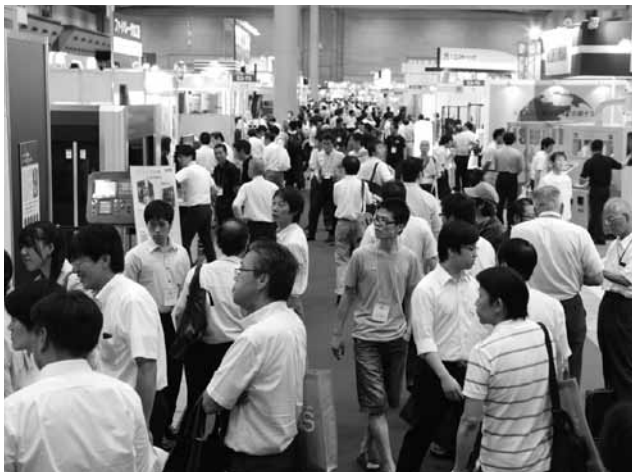
URL: <http://www.j-tms.or.jp> E-mail: info@j-tms.or.jp

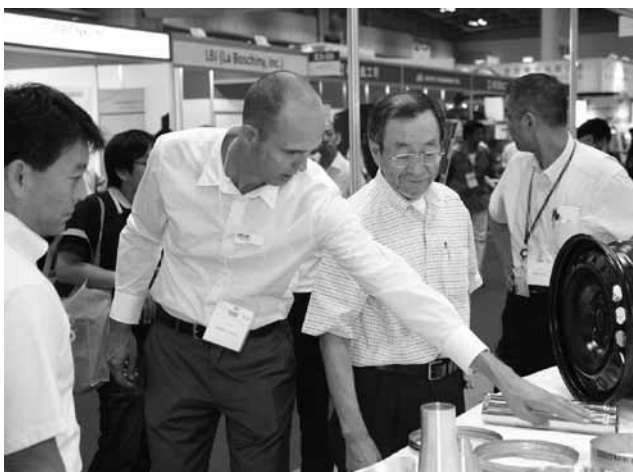
日刊工業新聞社 東京 印刷部

〒103-8540 東京都中央区日本橋1-4-1

TEL: 03-5641-7231 FAX: 03-5641-7021

URL: <http://www.mf-tokyo.jp> E-mail: mfevent@media.nikkan.co.jp





○特別講演



○学会テクニカルセミナー



○出展者テクニカルセミナー



○大学研究室発表会



○スチームハンマー模型実演



「MF-Tokyo 2013 プレス・板金・フォーミング展」会期中の取材報道機関

エンジニアリングニュース社

オプトロニクス社

化学工業日報

加工技術研究会

ガスメディア

ガスレビュー

金型新聞社

金属産業新聞社

鋼構造出版

産業新聞社

産業タイムズ社

産業通信

産報出版

潤滑通信社

商工経済新聞社

新報

ステンレスニュース社

素形材通信社

テレケーブル新聞社

伝導機新聞社

内外環境ニュース

日経BP社

日報ビジネス

日本経済新聞社

日本工業出版

日本物流新聞社

ニュース ダイジェスト社

ねじの世界社

ばね新聞社

ビディア

ファスニングジャーナル

フジサンケイ ビジネスアイ

マシニスト出版

ムックハウス

読売新聞

(50音順 法人格略)

発 行 日	2013年9月
発 行	日刊工業新聞社 業務局 イベント事業部 「MF-Tokyo 2013 プレス・板金・フォーミング展」事務局 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 TEL 03-5644-7221 FAX 03-5641-8321

次回開催ご案内

MF-Tokyo 2015

プレス・板金・フォーミング展

2015年に東京ビッグサイトで開催予定

※詳細はパンフレットが出来上がり次第
ご案内させていただきます。

お問い合わせ

●一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館3F
TEL : 03-3432-4579 FAX : 03-3432-4804
<http://www.j-fma.or.jp>

●日刊工業新聞社 業務局イベント事業部

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1
TEL : 03-5644-7221 FAX : 03-5641-8321
<http://mf-tokyo.jp/>